

令和 8 年 3 月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	上下水道局の令和 8 年度予算編成の基本方針	1 頁
2	令和 8 年度当初予算（案）概要	2 頁
3	有収水量と料金収入の推移	5 頁
4	水道事業会計	
	（1）令和 8 年度当初予算（案）総括表	6 頁
	（2）令和 8 年度建設改良事業	8 頁
5	工業用水道事業会計	
	（1）令和 8 年度当初予算（案）総括表	22 頁
	（2）令和 8 年度建設改良事業	24 頁
6	公共下水道事業会計	
	（1）令和 8 年度当初予算（案）総括表	26 頁
	（2）令和 8 年度建設改良事業	28 頁
7	上下水道耐震化計画に基づく取組（再掲）	49 頁

- 8 建設改良事業以外の主な取組 51 頁
- (1) 富山市水道事業「通水」90周年・富山市上下水道局発足25周年記念事業の実施（新規）
 - (2) 「市民参加型」上下水道ワークショップの開催（新規）
 - (3) その他の取り組み

【条例案件】

- 9 富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する
条例の一部を改正する条例制定の件 54 頁
- 10 富山市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件 55 頁
- 11 富山市下水道条例の一部を改正する条例制定の件 56 頁

1 上下水道局の令和8年度予算編成の基本方針

平成20年（2008年）4月以来、18年ぶりとなる本年4月からの水道料金及び下水道使用料の改定によって、本市の上下水道事業の収益構造は現状からの改善が期待できます。しかしながら、依然として、少子化の進行や東京圏への人口流出に伴う人口減少が続いていることに加え、数年後には世帯数がピークを迎えた後、減少に転じることが予測されており、収益面への影響は避けられないものと考えます。

一方、エネルギーコストは高い水準で推移し、薬品費や資材価格、労務単価等の上昇も見込まれるため、今後も厳しい経営環境が続いていくことに変わりはありません。

こうした状況下にあっても、市民生活や社会経済活動を根底から支える基盤としての上下水道事業の使命を果たすため、上下水道インフラの点検・修繕などメンテナンスの強化、またインフラの老朽化対策や地震対策、浸水対策等の着実な推進が求められます。

このため今後の事業運営においては、収益の確保を図る一方、徹底した経費の削減や業務の効率的執行に努めるなど、不断の経営努力に一層取り組んでまいります。

令和8年度予算においては、強靱で持続可能な上下水道システムの構築に向け、計画最終年度を迎える「富山市上下水道事業中長期ビジョン」（計画期間：平成29年度～令和8年度）や昨年2月に策定した「富山市上下水道耐震化計画」（計画期間：令和7年度～令和11年年度）を踏まえ、効果的・効率的な事業執行に努めつつ、将来を見据えた投資を積極的・計画的に行うことにより、信頼される富山市上下水道事業の構築に鋭意、取り組んでまいります。

2 令和8年度当初予算（案）概要

水道事業会計

(1) 収益的収支

収益については、令和8年4月からの水道料金改定等により、対前年度比で15億5千万円余（うち水道料金増収分は約13億円余）増の91億8千万円余を見込む一方、費用については、エネルギーコストや資材価格、労務単価等の上昇による影響などから、対前年度比で7億1千万円余増の79億8千万円余を見込みました。その結果、当年度純利益は12億円余（税抜純利益8億7千万円余）を計上しました。

(2) 資本的収支

事業の根幹を成す建設改良費については、上下水道耐震化計画などに基づく水道管路等の更新や耐震化事業を推進するため、対前年度比9億8千万円余増の55億7千万円余を計上しました。また、資本的収支の不足額39億5千万円余については、当年度分損益勘定留保資金などから補填しました。

収益的収支		資本的収支	
収入 91.9億円	支出 79.8億円	収入 39.8億円	支出 79.3億円
お客さまからの 水道料金 73.0億円	維持管理費 (浄水場の運転や 水道管のメンテ ナンスなど) 34.7億円	企業債 29.5億円	建設改良費 (水道施設の耐震化や 老朽基幹施設の改築 など) 55.7億円
その他 18.9億円	減価償却費 (施設の建設に充てた 企業債の返済や整備 改良に充てる費用) 37.2億円	国庫補助金 6.8億円 その他収入 3.5億円	企業債償還金など 23.6億円
	純利益 12.1億円 (税抜純利益8.7億円)	不足額※ 39.5億円	
	企業債の利子の支払 など 7.9億円		

※資本的収支の不足額は、減価償却費などの現金支出を伴わない費用から生じる資金などで補てんします。

工業用水道事業会計

(1) 収益的収支

収益については、料金を責任水量制としていることから、前年とほぼ同額の4億8千万円余を見込む一方、費用については、水道事業と同様に物価上昇の影響などから、対前年度比で2千万円余増の3億6千万円余を見込みました。その結果、当年度純利益は1億2千万円余（税抜純利益1億1千万円余）を計上しました。

(2) 資本的収支

建設改良費については、令和8年度は施設の大規模改築等を行わず、送水ポンプなどの機器更新を予定しており、対前年度費6百万円余減の9千万円余を計上しました。また、資本的収支の不足額9千万円余については、当年度分損益勘定留保資金などから補填しました。

収益的収支		資本的収支	
収入 4.86億円	支出 3.63億円	収入 8千円	支出 0.95億円
お客さまからの 工業用水道料金 4.57億円	維持管理費 (浄水場の運転や 水道管のメンテ ナンスなど) 2.06億円	固定資産売却 8千円	建設改良費 0.74億円
	減価償却費 (施設の建設に充てた 企業債の返済や整備 改良に充てる費用) 1.28億円	不足額※ 0.95億円	企業債償還金など0.21億円
	純利益 1.23億円 (税抜純利益1.19億円)	企業債の利子の支払 など 0.29億円	
その他収入 0.29億円			

※資本的収支の不足額は、減価償却費などの現金支出を伴わない費用から生じる資金などで補てんします。

公共下水道事業会計

(1) 収益的収支

収益については、令和8年4月からの下水道使用料改定等により、対前年度比で14億3千万円余（うち下水道使用料増収分は約12億9千万円余）増の166億6千万円余を見込む一方、費用については、水道事業と同様に物価上昇の影響などから、対前年度比で6億8千万円余増の151億2千万円余を見込みました。その結果、当年度純利益は15億3千万円余（税抜純利益12億8千万円余）を計上しました。

(2) 資本的収支

事業の根幹を成す建設改良費については、上下水道耐震化計画などに基づく下水道管路等の更新や耐震化、老朽化した処理場の改築を推進するため、対前年度比15億円余増の65億4千万円余を計上しました。また、資本的収支の不足額61億9千万円余については、当年度分損益勘定留保資金などから補填しました。

収益的収支		資本的収支	
収入 166.6億円	支出 151.3億円	収入 80.6億円	支出 142.5億円
お客さまからの 下水道使用料 91.9億円	維持管理費 (浄化センターの運転 や下水道管のメンテ ナンスなど) 52.0億円	企業債 37.0億円	建設改良費 (下水道施設の耐震化や 老朽基幹施設の更新 など) 65.4億円
雨水処理等のための 一般会計からの繰入金 22.1億円	減価償却費 (施設の建設に充てた 企業債の返済や整備 改良に充てる費用) 85.7億円	国庫補助金 25.1億円	企業債償還金など 77.1億円
その他 52.6億円	企業債の利子の支払など 13.6億円	一般会計からの繰入金 17.4億円	
	純利益 15.3億円 (税抜純利益12.8億円)	その他収入 1.1億円	
		不足額※ 61.9億円	

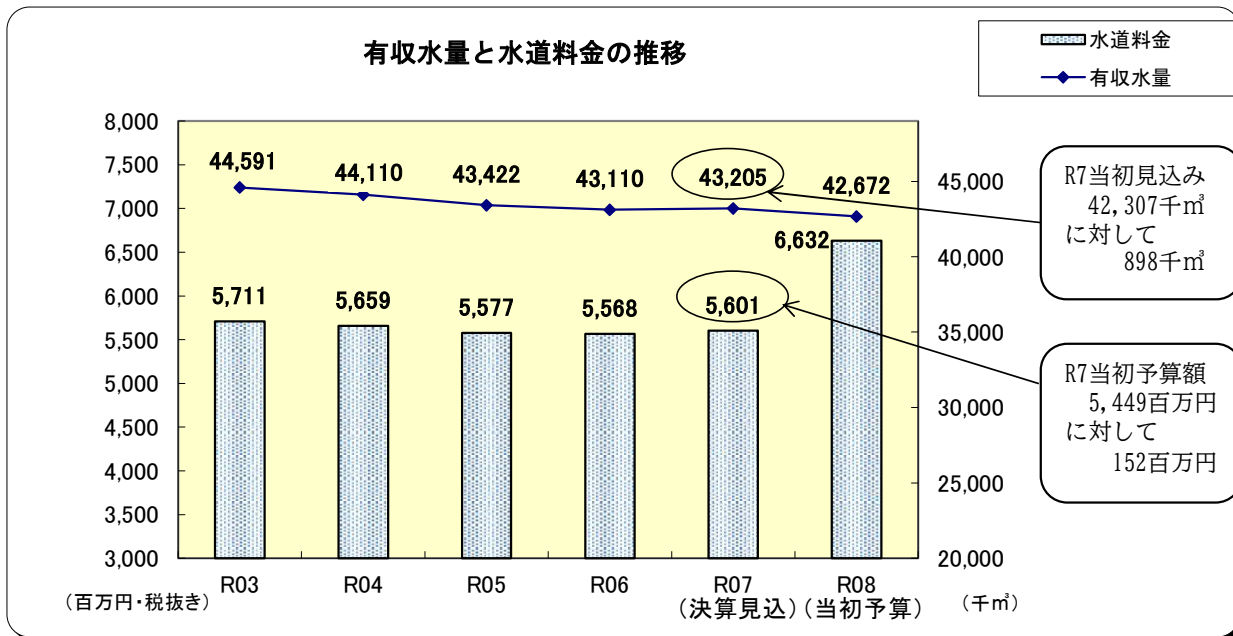
※資本的収支の不足額は、減価償却費などの現金支出を伴わない費用から生じる資金などで補てんします。

3 有収水量と料金収入の推移

(1) 水道

◇有収水量と水道料金の推移（令和7年度は決算見込、令和8年度は当初予算）

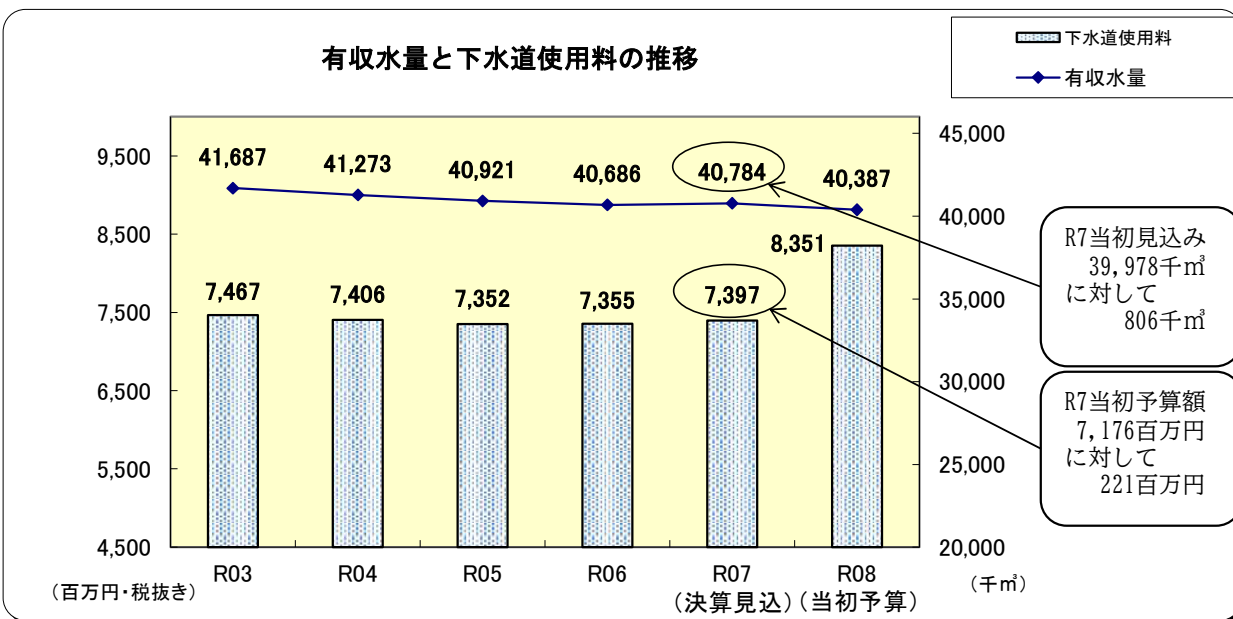
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
有収水量（千 m^3 ）	44,591	44,110	43,422	43,110	43,205	42,672
対前年度比（%）		98.92	98.44	99.28	100.22	98.77
水道料金（税抜：千円）	5,710,523	5,658,621	5,576,677	5,567,648	5,601,345	6,631,547
対前年度比（%）		99.09	98.55	99.84	100.61	118.39



(2) 下水道

◇有収水量と下水道使用料の推移（令和7年度は決算見込、令和8年度は当初予算）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
有収水量（千 m^3 ）	41,687	41,273	40,921	40,686	40,784	40,387
対前年度比（%）		99.01	99.15	99.43	100.24	99.03
下水道使用料（税抜：千円）	7,467,054	7,406,018	7,352,134	7,355,398	7,397,220	8,351,337
対前年度比（%）		99.18	99.27	100.04	100.57	112.90



4 水道事業会計

(1) 令和8年度当初予算(案)総括表

①収益的収支

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	差引増減 (A - B)	伸率 (%)
水道事業収益	9,189,074	7,639,056	1,550,018	20.29
営業収益	8,099,871	6,589,499	1,510,372	22.92
給水収益	7,295,241	5,994,090	1,301,151	21.71
受託工事収益	15,795	16,535	△ 740	△ 4.48
受託事業収益	377	351	26	7.41
その他営業収益	788,458	578,523	209,935	36.29
営業外収益	1,082,873	1,043,521	39,352	3.77
※ 受取利息	500	100	400	—
一般会計負担金	20,919	21,425	△ 506	△ 2.36
水道加入金	234,432	184,672	49,760	26.95
長期前受金戻入	823,645	834,128	△ 10,483	△ 1.26
雑収益	3,377	3,196	181	5.66
特別利益	6,330	6,036	294	4.87
固定資産売却益	6,330	6,036	294	4.87
水道事業費	7,983,518	7,263,846	719,672	9.91
営業費用	7,194,266	6,569,778	624,488	9.51
原水及び浄水費	889,888	754,363	135,525	17.97
配水及び給水費	1,365,269	1,131,903	233,366	20.62
受託工事費	30,016	31,416	△ 1,400	△ 4.46
業務費	537,080	499,683	37,397	7.48
総係費	362,410	305,119	57,291	18.78
減価償却費	3,717,638	3,725,117	△ 7,479	△ 0.20
資産減耗費	291,960	122,172	169,788	138.97
その他営業費用	5	5	0	—
営業外費用	777,482	682,355	95,127	13.94
支払利息及び企業債取扱諸費	596,389	553,213	43,176	7.80
消費税及び地方消費税	181,093	129,142	51,951	40.23
特別損失	11,270	11,213	57	0.51
固定資産売却損	70	13	57	438.46
過年度損益修正損	11,200	11,200	0	—
予備費	500	500	0	—
予備費	500	500	0	—
差 引 損 益	1,205,556	375,210	830,346	221.30
(税抜純利益)	(871,770)	(78,243)	(793,527)	1,014.18

②資本の収支

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	差引増減 (A - B)	伸率 (%)
資本の収入	3,977,051	3,448,052	528,999	15.34
企業債	2,950,000	2,984,900	△ 34,900	△ 1.17
企業債	2,950,000	2,984,900	△ 34,900	△ 1.17
他会計出資金	67,458	69,045	△ 1,587	△ 2.30
※ 他会計出資金	67,458	69,045	△ 1,587	△ 2.30
他会計負担金	14,320	16,140	△ 1,820	△ 11.28
他会計負担金	14,320	16,140	△ 1,820	△ 11.28
固定資産売却代金	984	882	102	11.56
固定資産売却代金	984	882	102	11.56
国庫補助金	679,712	288,883	390,829	135.29
国庫補助金	679,712	288,883	390,829	135.29
工事負担金	264,577	88,202	176,375	199.97
工事負担金	264,577	88,202	176,375	199.97
資本の支出	7,932,100	6,959,663	972,437	13.97
建設改良費	5,575,050	4,587,387	987,663	21.53
配水施設事務費	227,497	210,131	17,366	8.26
配水施設費	4,811,145	4,136,194	674,951	16.32
設備費	6,292	4,059	2,233	55.01
固定資産購入費	475,457	215,534	259,923	120.59
建設負担金	54,659	21,469	33,190	154.59
企業債償還金	2,357,050	2,372,276	△ 15,226	△ 0.64
企業債償還金	2,357,050	2,372,276	△ 15,226	△ 0.64
差 引	△ 3,955,049	△ 3,511,611	△ 443,438	△ 12.63

補 て ん 財 源	3,955,049	3,511,611	443,438	12.63
当年度消費税及び地方消費税資本の収支調整額	392,779	359,699	33,080	9.20
過年度分損益勘定留保資金	1,468,030	1,144,972	323,058	28.22
当年度分損益勘定留保資金	2,094,240	2,006,940	87,300	4.35

〔参考〕

	令和8年度A	令和7年度B	差引(A - B)
※一般会計繰入金	88,377	90,470	△ 2,093

(2) 令和8年度 建設改良事業

水道事業会計（建設改良費） 55億7千5百万円	① 水道施設の更新・耐震化	3,527,450千円
	ア 配水幹線の整備	1,763,090千円
	イ 配水管網の整備	156,100千円
	ウ 老朽水道管の整備	780,875千円
	エ 老朽基幹施設の改良	827,385千円
	② 防災拠点機能の向上	307,928千円
	ア 防災拠点接続管路の整備	307,928千円
	③ 水道水の安定供給	469,607千円
	ア 水量不足や水質悪化への対応	469,607千円
	④ その他	1,270,065千円
	ア 他工事関連事業	549,160千円
	イ 人件費、事務費等	720,905千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位：千円)

事業名		令和8年度 当初予算 A	令和7年度 当初予算 B	比較増減 A-B	
水道事業会計 (建設改良費)	① 水道施設の更新・耐震化	3,527,450	3,167,978	359,472	
	ア 配水幹線の整備	事業費	1,763,090	923,229	839,861
		概要	・北部幹線 外(更新) L=1.80Km	・北部幹線 外(更新) L=0.87Km	
	イ 配水管網の整備	事業費	156,100	194,590	△ 38,490
		概要	・管網整備 L=1.40Km	・管網整備 L=1.44Km	
	ウ 老朽水道管の整備	事業費	780,875	1,241,259	△ 460,384
		概要	・老朽ビニル管等の布設替 L=2.13Km	・老朽ビニル管等の布設替 L=4.86Km ・老朽添架管の架替 L=0.02Km	
	エ 老朽基幹施設の改良	事業費	827,385	808,900	18,485
		概要	・上滝浄水場更新工事 ・下井田新浄水場更新工事 ・監視設備更新工事	・上滝中区配水池築造工事	
	② 防災拠点機能の向上	307,928	232,647	75,281	
	ア 防災拠点接続管路の整備	事業費	307,928	232,647	75,281
		概要	・防災拠点管路の整備 L=1.03Km	・防災拠点管路の整備 L=0.86Km	
	③ 水道水の安定供給	469,607	457,754	11,853	
	ア 水量不足や水質悪化への対応	事業費	469,607	457,754	11,853
概要		・八尾配水ブロックの整備	・細入配水ブロックの整備 ・八尾配水ブロックの整備		
④ その他	1,270,065	729,008	541,057		
ア 他工事関連事業	事業費	549,160	283,315	265,845	
	概要	・物件移転補償に伴う布設替 L=2.48Km	・物件移転補償に伴う布設替 L=1.28Km		
イ 人件費、事務費等	事業費	720,905	445,693	275,212	
	概要	・固定資産購入費、人件費、 事務費等	・固定資産購入費、人件費、 事務費等		
建設改良費 合計		5,575,050	4,587,387	987,663	

① 水道施設の更新・耐震化

ア 配水幹線の整備

事業費 1,763,090 千円

配水幹線は、老朽化に伴う漏水事故が発生していることに加え、大規模地震発生時においても広い範囲に影響を及ぼすことから、配水幹線の更新及び新たな配水幹線網の整備による耐震化を進めることにより、安定給水の確保と耐震化率の向上を図ります。

令和8年度事業の概要

(ア)配水幹線の更新 1,763,090千円

- 古沢幹線 田島川外水管橋設置工事【R6～8継続費】L = 0.23 km

継続事業費 (単位：千円)

	R 6年度	R 7年度	R 8年度	合計
事業費	0	224,600	290,400	515,000

- 北部、水橋、古沢、城南、大沢野幹線 L = 1.57 km
- 実施設計業務委託（南部、水橋幹線） 一式
- 基本設計業務委託（南部幹線） 一式

イ 配水管網の整備

事業費 156,100 千円

大規模地震発生時においても給水を確保するために、新たな配水管整備による配水管のループ化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

また、新規給水要望に対応するための新たな配水管の整備を図ります。

令和8年度事業の概要

(ア)配水管網の整備 156,100千円

- 配水管の新設 L = 1.40 km

ウ 老朽水道管の整備

事業費 780,875 千円

老朽水道管について、耐用年数、布設経過年数、漏水事故発生状況等を考慮の上、計画的に更新を進めるとともに、大規模地震発生時においても給水を確保するために耐震化を推進することにより、強靱な水道施設の構築を図ります。

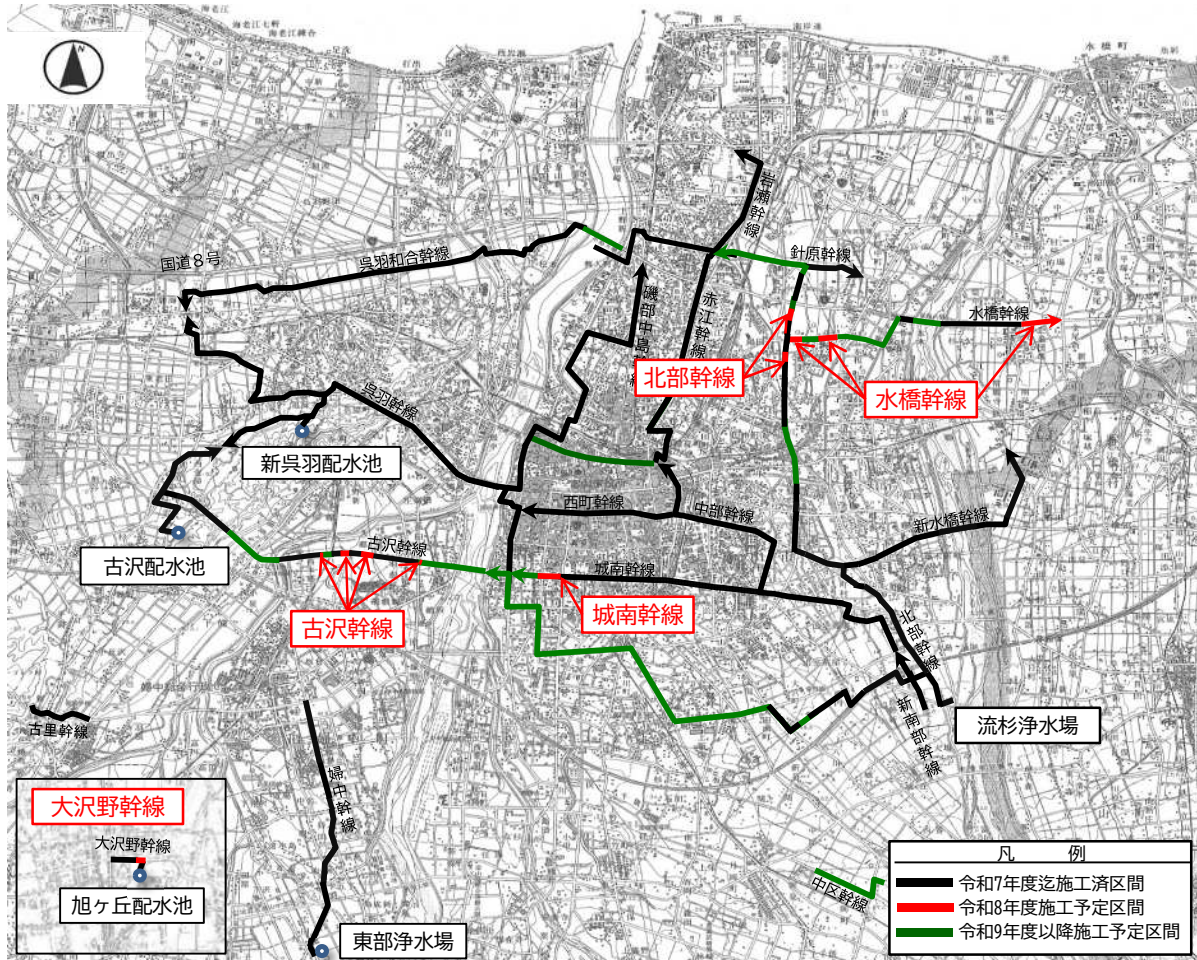
令和8年度事業の概要

(ア)老朽水道管の整備

(i)老朽ビニル管等の布設替 780,875千円

- 老朽管布設替工事 L = 2.13km

配水幹線の整備 箇所図



配水幹線整備の推移

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョン	耐震管延長(km)	43.0	50.3	55.7	59.7	63.8	69.1	72.2	77.1	82.6	88.5	94.7
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
	耐震化率(%)	42.0%	49.2%	54.4%	58.4%	62.4%	67.5%	70.6%	75.4%	80.7%	86.5%	92.6%
実績及び 実績見込	耐震管延長(km)	41.0	53.1	57.5	60.6	63.8	67.1	71.9	74.7	78.4	79.3	83.0
	全体延長(km)	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3	102.3
	耐震化率(%)	40.1%	51.9%	56.2%	59.2%	62.4%	65.6%	70.3%	73.0%	76.6%	77.5%	81.1%

配水幹線の施工状況



エ 老朽基幹施設の改良

事業費 827,385 千円

配水池や浄水場などの基幹施設は、その多くが昭和30年代から50年代にかけて建設され、大規模な更新時期を迎えています。

このため、将来の水需要を見極めた基幹施設の再構築とともに、施設の耐震化を計画的に進めることにより、災害に強く、より質の高い水道水の安定供給を図ります。

令和8年度事業の概要

(ア)老朽基幹施設の更新 827,385千円

- ・ 上滝浄水場（大山地域） 上滝浄水場機械設備工事 【R7～R8継続：2年目】

継続事業費 (単位：千円)

	R7年度	R8年度	合計
事業費	32,000	48,000	80,000

- 上滝浄水場電気設備工事 【R7～R8継続：2年目】

継続事業費 (単位：千円)

	R7年度	R8年度	合計
事業費	89,600	134,400	224,000

- ・ 下井田新浄水場（八尾地域） 下井田新浄水場管理棟建築工事 【R8～R9継続：1年目】

継続事業費 (単位：千円)

	R8年度	R9年度	合計
事業費	62,000	248,000	310,000

- 下井田新浄水場管理棟建築工事監理業務委託 【R8～R9継続：1年目】

継続事業費 (単位：千円)

	R8年度	R9年度	合計
事業費	2,400	9,600	12,000

- ・ 西上下水道サービスセンター（婦中地域） 中央監視設備更新工事 【R7～R8継続：2年目】

継続事業費 (単位：千円)

	R7年度	R8年度	合計
事業費	146,300	62,700	209,000

- 遠方監視設備更新工事 【R8～R9継続：1年目】

継続事業費 (単位：千円)

	R8年度	R9年度	合計
事業費	234,150	100,350	334,500

- ・ 上滝浄水場（大山地域）
 - 場内整備工事 一式
 - 場内配管工事 一式
 - 電気・機械設備撤去工事 一式
- ・ 下井田新浄水場（八尾地域）
 - 造成工事 一式
 - 用地取得 一式
- ・ 小長谷低区配水池（八尾地域）
 - 更新実施設計業務委託 一式
 - 用地測量業務委託 一式
- ・ 楡原配水池（細入地域）
 - 場内配管工事 一式
 - 電気設備工事 一式
 - 機械設備工事 一式
- ・ 富山市水道施設（全域）
 - 電気設備改良実施設計業務委託 一式

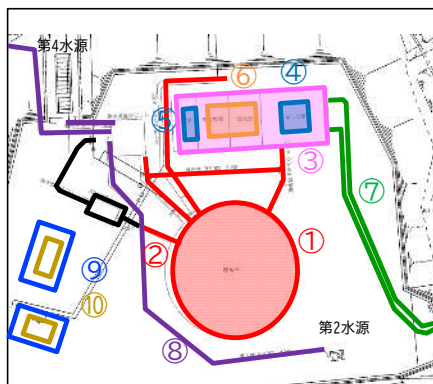
老朽基幹施設の改良 箇所図

(7)老朽基幹施設の更新
 ・上滝浄水場更新工事

位置図



平面図



①	配水池築造	配水池築造工事
②	配水管の300	場内配管工事
③	建屋築造	建築工事
④	ポンプ設備	機械設備工事
⑤	滅菌設備	電気設備工事
⑥	動力・計装・監視設備	電気設備工事
⑦	送水管・導水管(R7)	場内配管工事
⑧	送水管	場内・場外配管工事
⑨	施設解体・場内整備	解体・場内整備工事
⑩	解体・設備撤去	機械・電気設備工事

スケジュール

工種	実施計画年度			事業費計(千円)
	R6	R7	R8	
土木	新設配水池築造	79,090	298,000	377,090
	既設配水池取壊し	33,518		33,518
	既設管路撤去			1,000
	既設建屋・ポンプ井取壊し			16,000
	第2、第3、第4水源改修			18,000
	場内整備			15,000
	仮設管布設	20,289		20,289
	新設管布設	14,000	31,000	83,000
	第2、第3、第4水源配管			30,000
	第2、第3、第4水源配管			30,000
建築	新設建屋築造(建築、建築設備)		51,000	51,000
	機械設備新設(R7~R8継続費)	8,690	32,000	48,000
機械設備	既設機械設備撤去		4,000	4,000
	電気設備新設(R7~R8継続費)	3,960	89,600	134,400
電気設備	既設電気設備撤去		5,000	5,000
	事業費計(千円)	159,547	501,600	309,400

老朽基幹施設の改良 箇所図

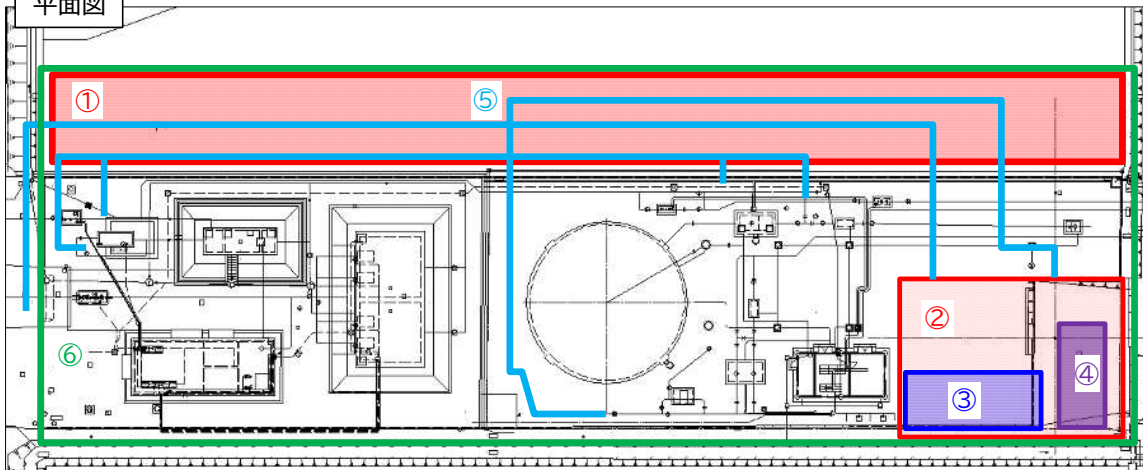
(ア)老朽基幹施設の更新

・下井田新浄水場更新工事

位置図



平面図



工事区分

①	敷地造成	造成工事
②	管理棟建築	建築工事
③	機械設備	機械設備工事
④	電気設備	電気設備工事
⑤	送水管・導水管	場内配管工事
⑥	場内整備	場内整備工事

スケジュール

工種	実施計画年度				事業費計 (千円)
	R8	R9	R10	R11	
敷地造成工事	25,000				25,000
管理棟建築工事	64,400	257,600			322,000
機械設備工事		88,000	132,000		220,000
電気設備工事		166,000	249,000		415,000
場内配管工事			62,000	93,000	155,000
場内整備工事				38,000	38,000
事業費計 (千円)	89,400	511,600	443,000	131,000	1,175,000

余 白

② 防災拠点機能の向上

ア 防災拠点接続管路の整備

事業費 307,928 千円

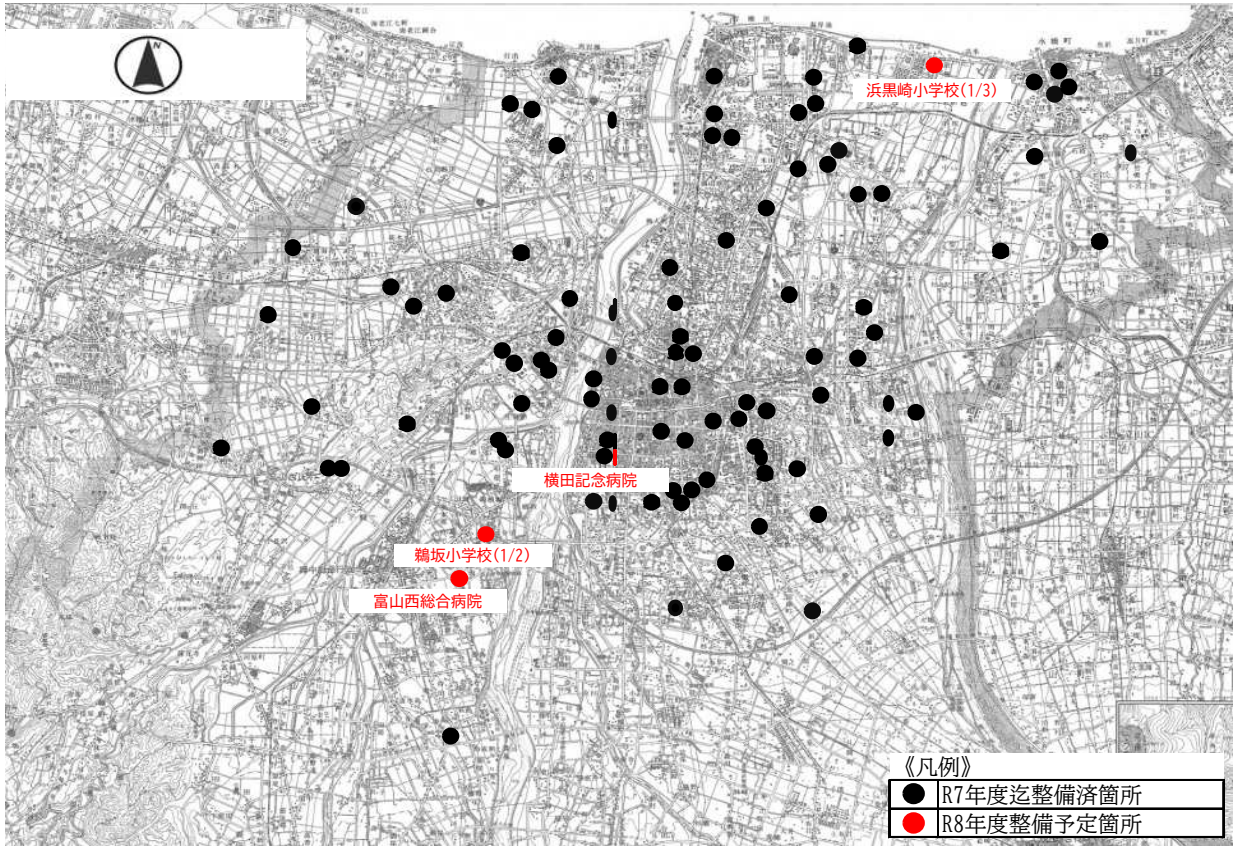
大規模地震発生時に求められる復旧活動の充実を図るため、配水幹線と避難所等の給水拠点を結ぶ管路（配水支管）の耐震化を優先的に推進するとともに、活動拠点の管理機能を充実させることにより、防災拠点の危機管理機能の強化と充実を図ります。

令和8年度事業の概要

(ア)防災拠点管路の整備	307,928千円
・ 防災拠点管路耐震化工事（富山地域）	L=0.27 km
・ 防災拠点管路耐震化工事（婦中地域）	L=0.76 km
・ 実施設計業務委託（浜黒崎小学校）	一式

防災拠点機能の整備 箇所図

(7) 防災拠点管路の整備



防災拠点機能整備の推移

		H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07	R08
第2次 中長期ビジョン	整備箇所数	45	55	68	79	87	89	93	94	95	97	98
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177
	整備率(%)	25.4%	31.1%	38.4%	44.6%	49.2%	50.3%	52.5%	53.1%	53.7%	54.8%	55.4%
実績及び 実績見込	整備箇所数	45	55	64	79	86	89	93	94	95	97	99
	全体箇所数	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177	177
	整備率(%)	25.4%	31.1%	36.2%	44.6%	48.6%	50.3%	52.5%	53.1%	53.7%	54.8%	55.9%

整備計画

年度	整備済箇所	箇所数	備考
令和7年度迄	整備済箇所	97箇所	
令和8年度	横田記念病院	2箇所	99箇所 完了予定
	富山西総合病院		
	浜黒崎小学校 (1/3年目)	2箇所	2箇所 着手予定
	鶯坂小学校 (1/2年目)		



③ 水道水の安定供給

ア 水量不足や水質悪化への対応

事業費 469,607 千円

浄水方法や配水系統をもとに大別した各配水ブロックのうち、水源の水量不足や水質悪化への対応が必要な配水ブロックについて、浄水施設能力の増強や、隣接ブロックの統合による再構築を計画的に進めることにより、安全で質の高い水道水の安定供給を図ります。

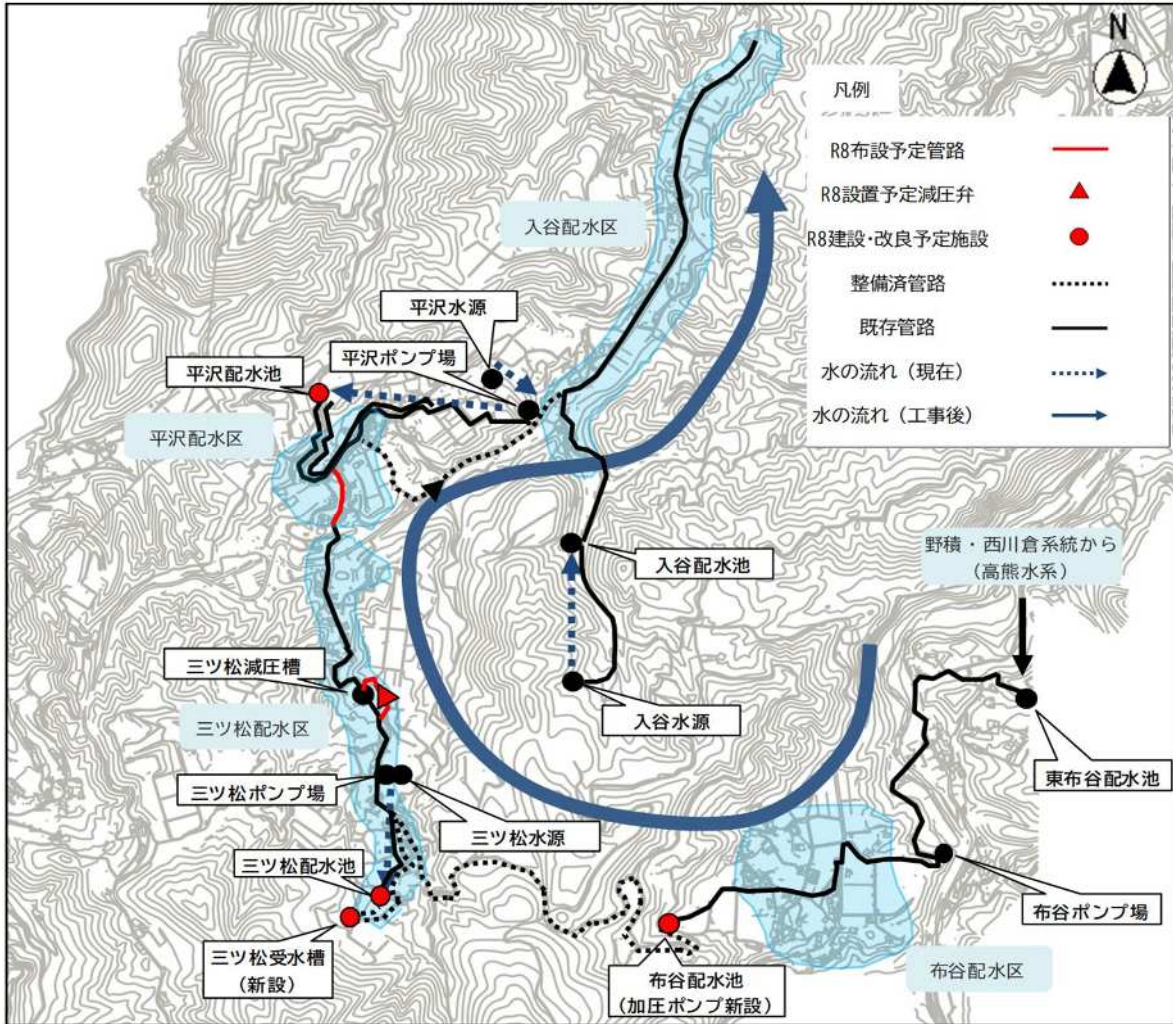
令和8年度事業の概要

(ア)八尾配水ブロックの整備		469,607千円
・ 布谷配水池改良工事	一式	
・ 布谷配水池外機械設備工事	一式	
・ 布谷配水池外電気設備工事	一式	
・ 三ツ松受水槽築造工事	一式	
・ 三ツ松地区外配水管布設替工事	L=0.53 km	
・ 布谷配水池外場内配管工事	一式	

配水ブロックの整備 箇所図

(ア)八尾配水ブロックの整備

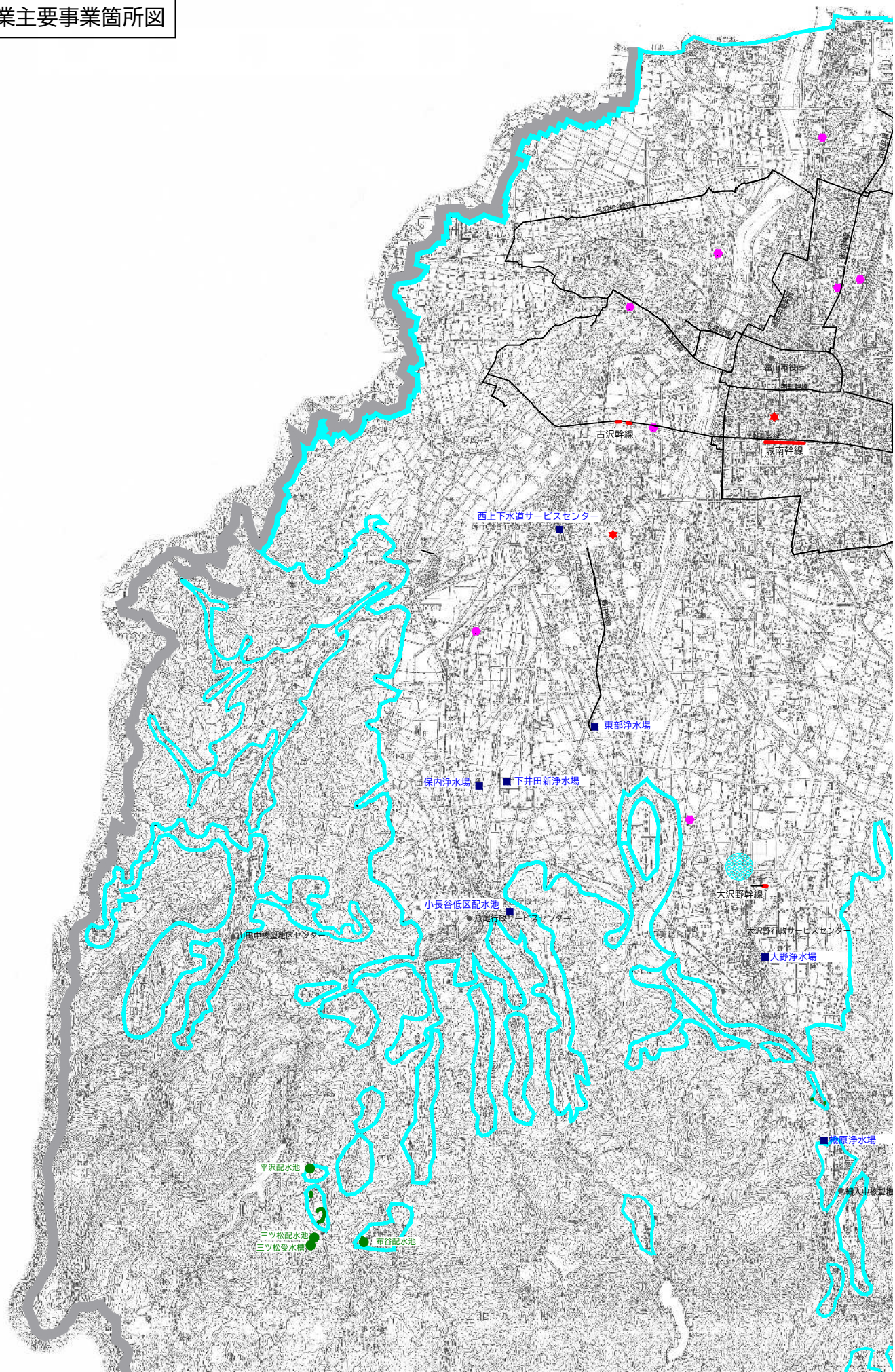
計画平面図

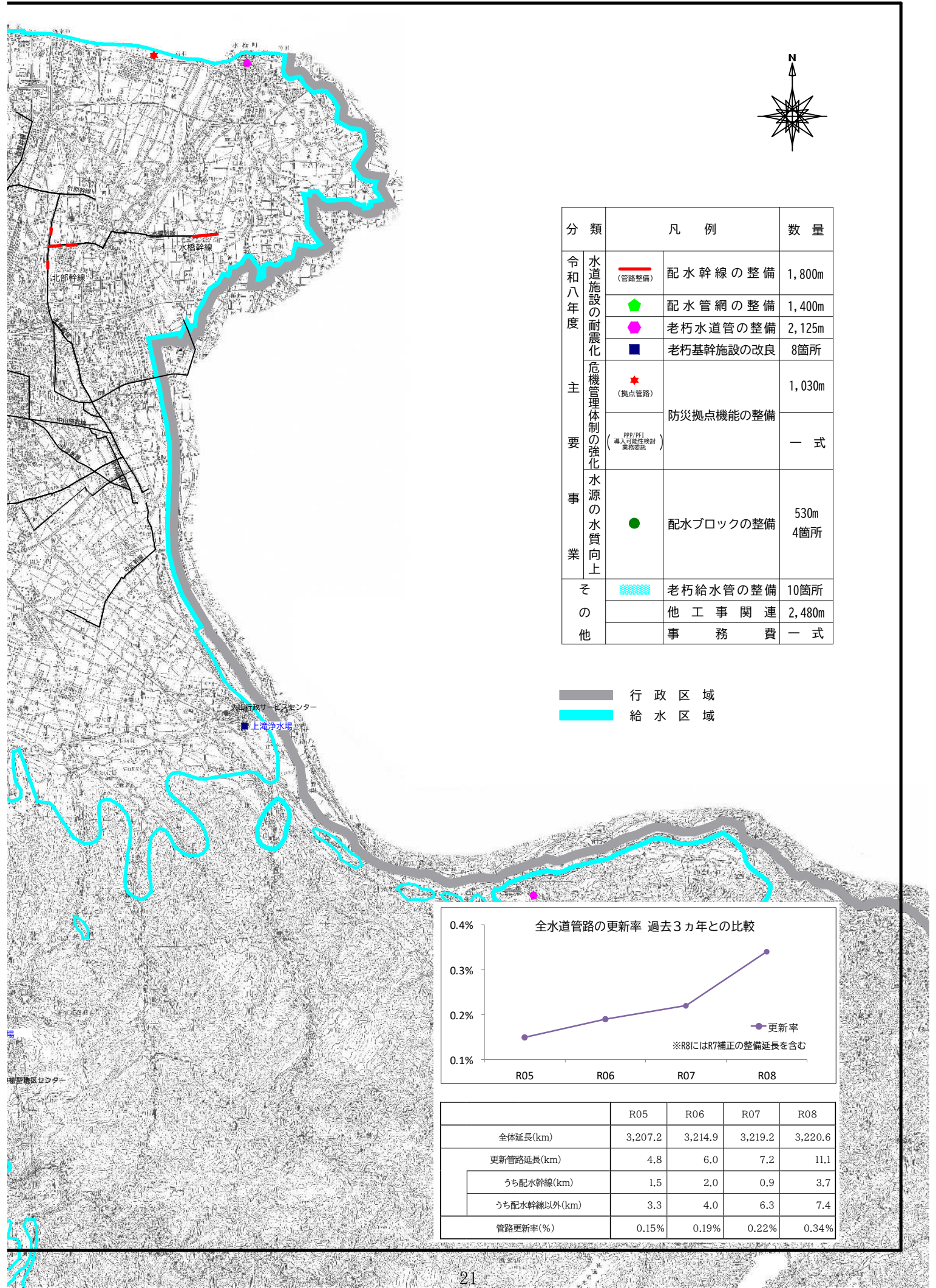










スケジュール



種目	工種	実施計画年度					事業費計 (千円)
		R4	R5	R6	R7	R8	
調査設計	現況測量、実施設計		11,660				11,660
用地関係	用地測量、用地取得他835m ²		4,242		1,110		5,352
配管	布谷～三ツ松地内 送配水管布設工事	45,747			115,060		160,807
	三ツ松地内 配水管布設工事				58,520		58,520
	三ツ松外地内 配水管布設替工事					83,270	83,270
	三ツ松減圧弁					32,730	32,730
	平沢減圧弁	14,303					14,303
舗装	舗装復旧工事	6,697	8,551			113,400	128,648
土木	布谷配水池 改良・場内配管					23,960	23,960
	三ツ松受水槽 築造・場内配管					52,960	52,960
	三ツ松配水池 場内配管					2,960	2,960
	平沢配水池 場内配管					3,560	3,560
機械電気	布谷配水池 機械・電気設備					56,367	56,367
	三ツ松受水槽 電気設備					23,700	23,700
	三ツ松配水池 機械・電気設備					9,400	9,400
	平沢配水池 機械・電気設備					2,500	2,500
事業費計(千円)		66,747	24,453	0	174,690	404,807	670,697

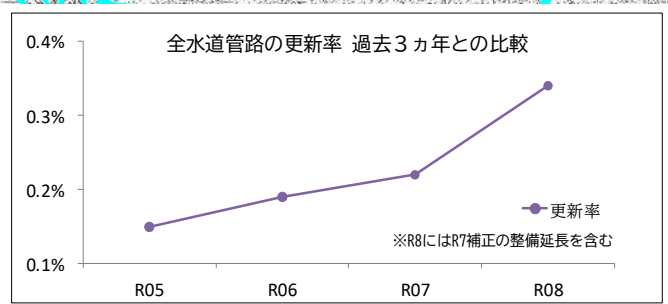
水道事業主要事業箇所図





分類	凡例		数量
令和八年度 水道施設の耐震化		配水幹線の整備 (管路整備)	1,800m
		配水管網の整備	1,400m
		老朽水道管の整備	2,125m
		老朽基幹施設の改良	8箇所
主要 危機管理体制の強化		防災拠点機能の整備 (拠点管路)	1,030m
		防災拠点機能の整備 (PPP/PFI導入可能性検討業務委託)	一式
事業 水源の水質向上		配水ブロックの整備	530m 4箇所
		老朽給水管の整備	10箇所
その他		他工事関連	2,480m
		事務費	一式

 行政区域
 給水区域



	R05	R06	R07	R08
全体延長(km)	3,207.2	3,214.9	3,219.2	3,220.6
更新管路延長(km)	4.8	6.0	7.2	11.1
うち配水幹線(km)	1.5	2.0	0.9	3.7
うち配水幹線以外(km)	3.3	4.0	6.3	7.4
管路更新率(%)	0.15%	0.19%	0.22%	0.34%

5 工業用水道事業会計

(1) 令和8年度当初予算(案)総括表

①収益の収支

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	差引増減 (A - B)	伸率 (%)
工業用水道事業収益	486,155	483,907	2,248	0.46
営業収益	456,706	456,706	0	0.00
給水収益	456,706	456,706	0	0.00
受託工事収益	0	0	0	—
営業外収益	29,449	27,201	2,248	8.26
※ 受取利息	5,700	3,100	2,600	—
一般会計負担金	720	480	240	—
長期前受金戻入	22,390	22,984	△ 594	△ 2.58
雑収益	639	637	2	0.31
特別利益	0	0	0	
その他特別利益	0	0	0	
工業用水道事業費	363,411	342,914	20,497	5.98
営業費用	334,700	311,137	23,563	7.57
取配水費	153,327	149,476	3,851	2.58
業務費	19,637	18,579	1,058	5.69
減価償却費	127,933	128,379	△ 446	△ 0.35
資産減耗費	33,803	14,703	19,100	129.91
受託工事費	0	0	0	0.00
営業外費用	27,673	30,595	△ 2,922	△ 9.55
支払利息及び企業債取扱諸費	4,795	5,405	△ 610	△ 11.29
消費税及び地方消費税	22,878	25,190	△ 2,312	△ 9.18
特別損失	938	1,082	△ 144	△ 13.31
固定資産売却損	938	1,082	△ 144	△ 13.31
予備費	100	100	0	—
予備費	100	100	0	—
差 引 損 益	122,744	140,993	△ 18,249	△ 12.94
(税抜純利益)	(119,113)	(138,026)	(△ 18,913)	△ 13.70

②資本的収支

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	差引増減 (A - B)	伸率 (%)
資本的収入	8	81	△ 73	△ 90.12
企業債	0	0	0	—
企業債	0	0	0	—
固定資産売却代金	8	81	△ 73	△ 90.12
固定資産売却代金	8	81	△ 73	△ 90.12
補助金	0	0	0	—
国庫補助金	0	0	0	—
工事負担金	0	0	0	—
工事負担金	0	0	0	—
資本的支出	94,548	101,522	△ 6,974	△ 6.87
建設改良費	73,378	62,748	10,630	16.94
設備費	41,378	32,248	9,130	28.31
取配水施設費	32,000	30,500	1,500	4.92
企業債償還金	21,170	38,774	△ 17,604	△ 45.40
企業債償還金	21,170	38,774	△ 17,604	△ 45.40
差 引	△ 94,540	△ 101,441	6,901	6.80

補 て ん 財 源	94,540	101,441	△ 6,901	△ 6.80
当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額	6,669	5,696	973	17.08
過年度分損益勘定留保資金	87,871	95,745	△ 7,874	△ 8.22

〔参考〕

	令和8年度A	令和7年度B	差引(A - B)
※一般会計繰入金	720	480	240

(2) 令和8年度 建設改良事業

【建設改良費対前年度比較表】

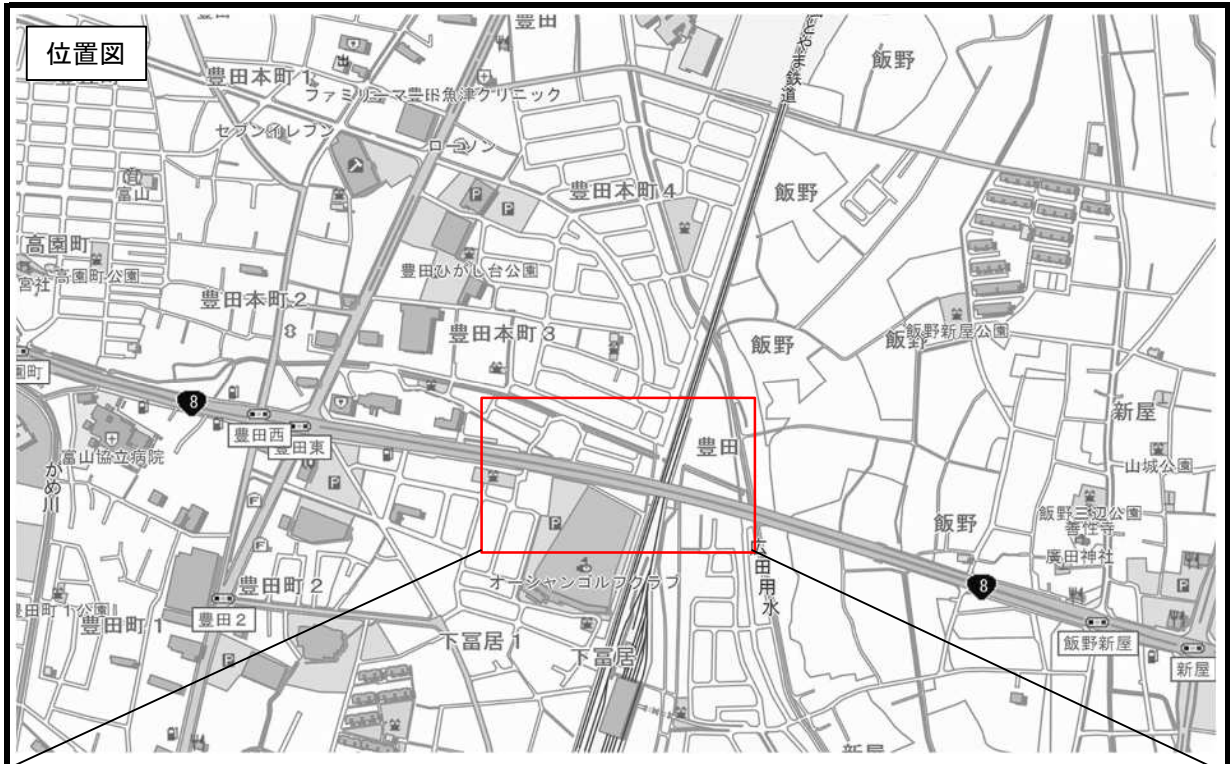
(単位：千円)

事業名		令和8年度 当初予算 ①	令和7年度 当初予算 ②	比較増減 ①-②	
工業用水道事業会計 (建設改良費)	① 流杉工業用水道事業				
	ア 老朽基幹施設の改良	事業費			
		概要			
	② その他				
	ア 他工事関連事業	事業費	32,000	30,500	1,500
		概要	・支障移転に伴う布設替 L=0.05Km	・支障移転に伴う布設替 L=0.05Km	
イ 設備費、事務費等	事業費	41,378	32,248	9,130	
	概要				
建設改良費 合計		73,378	62,748	10,630	

② その他
ア 他工事関連事業

事業費 32,000 千円

国道8号豊田新屋立体事業において支障となる配水管の移転に係る工事を実施します。



6 公共下水道事業会計

(1) 令和8年度当初予算(案)総括表

①収益の収支

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	差引増減 (A-B)	伸率 (%)
下水道事業収益	16,663,630	15,228,862	1,434,768	9.42
営業収益	12,631,565	11,274,568	1,356,997	12.04
※ 下水道収益	9,186,469	7,894,022	1,292,447	16.37
※ 一般会計負担金	3,045,178	3,002,706	42,472	1.41
※ 受託事業収益	279,548	251,869	27,679	10.99
※ その他営業収益	120,370	125,971	△ 5,601	△ 4.45
営業外収益	4,032,065	3,954,294	77,771	1.97
※ 受取利息	3,000	1,000	2,000	200.00
※ 一般会計負担金	566,047	574,747	△ 8,700	△ 1.51
※ 一般会計補助金	33,849	39,492	△ 5,643	△ 14.29
※ 国庫補助金	116,071	15,000	101,071	673.81
※ 長期前受金戻入	3,305,763	3,317,667	△ 11,904	△ 0.36
※ 雑収益	7,335	6,388	947	14.82
特別利益	0	0	0	—
※ その他特別利益	0	0	0	—
下水道事業費	15,126,228	14,444,269	681,959	4.72
営業費用	13,763,575	13,072,459	691,116	5.29
管渠費	326,041	231,778	94,263	40.67
ポンプ場費	407,671	414,289	△ 6,618	△ 1.60
浜黒崎浄化センター費	1,854,174	1,513,869	340,305	22.48
水橋浄化センター費	228,410	168,355	60,055	35.67
大沢野浄化センター費	171,479	156,388	15,091	9.65
大山処理場費	79,464	66,907	12,557	18.77
小見浄化センター費	16,324	13,785	2,539	18.42
山田浄化センター費	44,736	43,723	1,013	2.32
榆原浄化センター費	17,590	27,417	△ 9,827	△ 35.84
南部地区浄化センター費	10,752	20,069	△ 9,317	△ 46.42
流域下水道管理費負担金	856,443	856,218	225	0.03
水洗化促進費	21,609	22,049	△ 440	△ 2.00
排水設備指導費	43,985	39,079	4,906	12.55
業務費	306,445	288,499	17,946	6.22
総係費	375,981	215,434	160,547	74.52
減価償却費	8,572,307	8,536,151	36,156	0.42
資産減耗費	155,914	215,043	△ 59,129	△ 27.50
地域し尿処理施設費	10,373	9,150	1,223	13.37
農業集落排水事業費	261,034	231,470	29,564	12.77
林業集落排水事業費	1,743	1,686	57	3.38
富山八尾中核工業団地排水施設管理費	1,100	1,100	0	—
営業外費用	1,345,653	1,354,726	△ 9,073	△ 0.67
支払利息及び企業債取扱諸費	1,073,116	1,110,721	△ 37,605	△ 3.39
消費税及び地方消費税	272,037	240,005	32,032	13.35
雑支出	500	4,000	△ 3,500	△ 87.50
特別損失	16,000	16,084	△ 84	△ 0.52
固定資産売却損	0	84	△ 84	皆減
過年度損益修正損	16,000	16,000	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
予備費	1,000	1,000	0	—
差引損益	1,537,402	784,593	752,809	95.95
(税抜純利益)	(1,284,702)	(576,599)	(708,103)	

②資本の収支

(単位：千円)

科 目	令和8年度 当初予算(案) A	令和7年度 当初予算 B	差引増減 (A-B)	伸率 (%)
資本の収入	8,061,999	6,361,548	1,700,451	26.73
企業債	3,698,932	2,818,858	880,074	31.22
企業債	3,227,500	2,752,800	474,700	17.24
借換債	471,432	66,058	405,374	613.66
国庫補助金	2,507,137	1,640,140	866,997	52.86
国庫補助金	2,507,137	1,640,140	866,997	52.86
他会計出資金	1,738,048	1,714,227	23,821	1.39
※ 他会計出資金	1,738,048	1,714,227	23,821	1.39
負担金及び分担金	114,368	184,387	△ 70,019	△ 37.97
工事負担金	15,300	91,000	△ 75,700	△ 83.19
下水道整備負担金	99,068	93,387	5,681	6.08
貸付金返還金	3,514	3,861	△ 347	△ 8.99
貸付金返還金	3,514	3,861	△ 347	△ 8.99
固定資産売却代金	0	75	△ 75	皆減
固定資産売却代金	0	75	△ 75	皆減
資本の支出	14,254,089	12,616,827	1,637,262	12.98
建設改良費	6,540,286	5,036,700	1,503,586	29.85
公共下水道築造事務費	179,146	157,176	21,970	13.98
公共下水道築造費	4,684,750	3,490,020	1,194,730	34.23
流域関連公共下水道築造事務費	22,961	20,949	2,012	9.60
流域関連公共下水道築造費	607,000	539,000	68,000	12.62
特定環境保全公共下水道築造事務費	7,299	6,432	867	13.48
特定環境保全公共下水道築造費	267,200	146,200	121,000	82.76
流域関連特定環境保全公共下水道築造事務費	6,243	7,561	△ 1,318	△ 17.43
流域関連特定環境保全公共下水道築造費	178,000	178,000	0	0.00
単独改良費	97,200	227,000	△ 129,800	△ 57.18
受益者負担金徴収事務費	16,845	15,051	1,794	11.92
固定資産購入費	365,842	148,511	217,331	146.34
建設負担金	107,800	100,800	7,000	6.94
企業債償還金	7,708,803	7,573,127	135,676	1.79
企業債償還金	7,237,371	7,507,069	△ 269,698	△ 3.59
企業債償還金(借換債)	471,432	66,058	405,374	613.66
投資	5,000	7,000	△ 2,000	△ 28.57
長期貸付金	5,000	7,000	△ 2,000	△ 28.57
差 引	△ 6,192,090	△ 6,255,279	63,189	1.01
補てん財源	6,192,090	6,255,279	△ 63,189	△ 1.01
当年度分消費税及び地方消費税資本の収支調整額	315,478	263,380	52,098	19.78
過年度分損益勘定留保資金	2,230,428	1,907,906	322,522	16.90
当年度分損益勘定留保資金	3,646,184	4,083,993	△ 437,809	△ 10.72

[参考]

	令和8年度A	令和7年度B	差引(A-B)
※一般会計繰入金	5,383,122	5,331,172	51,950

(2) 令和8年度 建設改良事業

公共下水道事業会計（建設改良費）

65
億
4
千
万
円

① 公共下水道（汚水）の更新・耐震化 3,937,600千円

ア	管渠の新設	783,500千円
イ	管渠の改築	1,058,400千円
ウ	処理場、ポンプ場の改築	1,114,600千円
エ	管渠の耐震化	404,000千円
オ	処理場、ポンプ場の耐震化	263,600千円
カ	処理場、ポンプ場の耐水化	144,700千円
キ	処理場の統廃合と再編	61,000千円
ク	神通川左岸流域下水道建設負担金	107,800千円

② 公共下水道（雨水）の更新・耐震化 1,907,150千円

ア	管渠の新設	1,048,650千円
イ	管渠の改築	252,000千円
ウ	雨水ポンプ場の改築	63,800千円
エ	管渠の耐震化	45,000千円
オ	雨水ポンプ場の耐震化	19,600千円
カ	雨水ポンプ場の耐水化	19,100千円
キ	浸水対策事業（下富居貯留池）	459,000千円

③ その他 695,536千円

ア	他工事関連事業	97,200千円
イ	人件費、事務費等	598,336千円

【建設改良費対前年度比較表】

(単位：千円)

施策・主要事業名		令和8年度 当初予算①	令和7年度 当初予算②	比較増減 ①-②
① 公共下水道（污水）の更新・耐震化		3,937,600	2,815,600	1,122,000
ア 管渠の新設	事業費	783,500	585,000	198,500
	主な内容	・ 本郷処理分区 布市新町地区管渠築造工事 ・ 大沢野処理区 稲代外地区管渠築造工事		
イ 管渠の改築	事業費	1,058,400	732,500	325,900
	主な内容	・ 松川処理分区 丸の内一丁目外地区 管路施設改築実施設計 L=4,700m ・ 松川処理分区 丸の内一丁目外地区 管路施設改築工事 L=950m		
ウ 処理場、ポンプ場の改築	事業費	1,114,600	714,100	400,500
	主な内容	・ 大沢野浄化センター 脱水機棟外受変電設備等改築工事委託 (R6, R7, R8継続) ・ 大山水処理場 監視制御設備改築工事委託 (R8, R9継続)		
エ 管渠の耐震化	事業費	404,000	244,000	160,000
	主な内容	・ 松川処理分区 新富町一丁目外地区 管渠地震対策実施設計 L=1090m ・ 松川処理分区 新桜町地区 管渠地震対策工事 L=130m		
オ 処理場、ポンプ場の耐震化	事業費	263,600	245,800	17,800
	主な内容	・ 大沢野浄化センター 自家発棟電気設備新設工事委託 (R6, R7, R8継続)		
カ 処理場、ポンプ場の耐水化	事業費	144,700	141,400	3,300
	主な内容	・ 大山水処理場 管理棟耐水化実施設計		
キ 処理場の統廃合と再編	事業費	61,000	52,000	9,000
	主な内容			
ク 神通川左岸流域下水道建設負担金	事業費	107,800	100,800	7,000
② 公共下水道（雨水）の更新・耐震化		1,907,150	1,638,420	268,730
ア 管渠の新設	事業費	1,048,650	989,820	58,830
	主な内容	・ 向新庄第二排水区 雨水幹線築造工事 L=130m ・ 松川第一排水区 舟橋北町地区 浸水対策工事 L=480m		
イ 管渠の改築	事業費	252,000	205,000	47,000
	主な内容	・ 速星排水区 笹倉雨水幹線改築工事 L=110m		
ウ 雨水ポンプ場の改築	事業費	63,800	0	63,800
	主な内容	・ 牛島排水ポンプ場 ストックマネジメント調査・計画策定業務		
エ 管渠の耐震化	事業費	45,000	63,000	△ 18,000
	主な内容	・ 新桜町雨水幹線外地震対策工事 L=130m		
オ 雨水ポンプ場の耐震化	事業費	19,600	23,900	△ 4,300
	主な内容	・ 呉羽駅前排水ポンプ場 耐震診断業務		
カ 雨水ポンプ場の耐水化	事業費	19,100	6,700	12,400
	主な内容	・ 神明ポンプ・ゲート場 耐水化実施設計業務		
キ 浸水対策事業（下富居貯留池）	事業費	459,000	350,000	109,000
	主な内容	・ 下富居排水区導水管、バイパス管築造工事 L=320m		
③ その他		695,536	582,680	112,856
ア 他工事関連事業	事業費	97,200	227,000	△ 129,800
イ 人件費、事務費等	事業費	598,336	355,680	242,656
建設改良費 合計		6,540,286	5,036,700	1,503,586

公共下水道事業会計（建設改良費）

① 公共下水道（汚水）の更新・耐震化

ア 管渠の新設

事業費	783,500 千円
(うち補助事業)	249,000 千円

生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図るために、整備困難地区の解消や開発等に伴う新たな下水道の整備を計画的に行います。

令和8年度事業の概要

・ 布設要望地区下水管布設工事	2,200m
・ 本郷処理分区布市新町地区管渠築造工事	630m
・ 布市新町第2汚水中継ポンプ所築造工事	
・ 大沢野処理区稲代外地区管渠築造工事	440m
・ 中大久保汚水中継ポンプ所築造工事	
・ 呉羽第一処理分区茶屋町地区舗装復旧工事	

イ 管渠の改築

事業費	1,058,400 千円
(うち補助事業)	907,700 千円

汚水を確実、安定、持続的に処理場へ流すために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めます。

令和8年度事業の概要

(ア) 下水道管の調査・計画	256,000 千円
----------------	------------

富山市下水道ストックマネジメント計画に基づき、浜黒崎処理区外の管渠を対象に調査を実施。

	R 6 年度 (実績)	R 7 年度 (見込)	R 8 年度
調査・計画延長	約42km	約20km	約50km

(イ) 下水道管の改築（分流区域）	442,800 千円
-------------------	------------

大沢野処理分区、大山処理区、水橋第一処理分区、小見処理区を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。

	R 6 年度 (実績)	R 7 年度 (見込)	R 8 年度
改築工事延長	4.2km	4.4km	1.2km

(ウ)下水道管の改築（合流区域） 297,800 千円

合流区域の松川処理分区を対象に老朽化が著しく、改築の優先度が高い管の改築工事を実施。

	R 6 年度（実績）	R 7 年度（見込）	R 8 年度
改築工事延長	0.0km	0.7km	1.0km

(エ)全国特別重点調査の対応 61,800 千円

埼玉県八潮市において発生した老朽下水道管による道路陥没事故を受け、実施した全国特別重点調査の結果、対策が必要な管渠における対策手法の検討および対策工事を実施。

ウ 処理場、ポンプ場の改築

事業費 1,114,600 千円
 （うち補助事業 1,104,300 千円）

汚水を確実に、安定、持続的に処理するため、施設の老朽度や将来の処理量を勘案しながら、計画的に施設の改築を進めます。

令和 8 年度事業の概要

(ア)下水処理場の改築 1,114,600 千円

(イ)浜黒崎浄化センター 324,700 千円

- ・沈砂池ポンプ棟設備改築外工事委託(継続 R8～R10：1年目)
 継続事業費 (単位：千円)

	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	合計
事業費	29,000	502,000	1,332,000	1,863,000

- ・中央監視装置改築工事委託(継続 R8～R10：1年目)
 継続事業費 (単位：千円)

	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	合計
事業費	67,000	258,000	546,000	871,000

- ・1系消化タンク外築造等工事委託(継続 R8～R10：1年目)
 継続事業費 (単位：千円)

	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度	合計
事業費	85,000	736,000	2,591,000	3,412,000

- ・植栽整備工事
- ・脱水機棟設備外改築実施設計業務委託
- ・計画設計（下水道基本計画）その2業務委託

(ii)大沢野浄化センター 333,000 千円

- ・脱水機棟外受変電設備等改築工事委託(継続 R6～R8：3年目)
継続事業費 (単位：千円)

	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	合計
事業費	28,100	89,300	279,200	396,600

- ・管理本館監視制御設備改築実施設計業務委託

(iii)大山下水处理場 414,100 千円

- ・監視制御設備改築工事委託(継続 R8～R9：2年目)
継続事業費 (単位：千円)

	R 8 年度	R 9 年度	合計
事業費	374,000	265,000	639,000

- ・塩素滅菌棟設備改築実施設計業務委託

(iv)山田浄化センター 27,800 千円

- ・汚泥処理棟外設備改築実施設計業務委託

(V)小見浄化センター 15,000 千円

- ・監視制御設備改築実施設計業務委託

エ 管渠の耐震化

事業費	404,000 千円
(うち補助事業)	404,000 千円)

地震時における被害を軽減するため、下水道管渠の耐震化を行い、防災対策の強化を図ります。

令和 8 年度事業の概要

(ア)下水道管の耐震化 (分流区域) 283,000 千円

- ・重要施設系統等管路耐震化診断業務委託
- ・重要施設系統等マンホール耐震化実施設計業務委託
- ・第 2 次緊急輸送道路マンホール耐震化工事 40箇所
- ・重要施設系統等マンホール耐震化工事 40箇所
- ・マンホールトイレ設置実施設計業務委託、工事

(イ)下水道管の耐震化 (合流区域) 121,000 千円

- ・松川処理分区新桜町地区管渠地震対策工事 130m
- ・松川処理分区新富町一丁目外地区管渠地震対策実施設計業務委託

オ 処理場、ポンプ場の耐震化

事業費	263,600 千円
(うち補助事業)	263,600 千円)

地震時における被害を軽減するため、下水処理場およびポンプ場の耐震化を行い、防災対策の強化を図ります。

令和8年度事業の概要

- ・大沢野浄化センター自家発棟建築新設工事委託（継続R6～R8:3年目）

継続事業費 (単位：千円)

	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	合計
事業費	35,900	113,000	30,000	178,900

- ・大沢野浄化センター自家発棟電気設備新設工事委託（継続R6～R8:3年目）

継続事業費 (単位：千円)

	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	合計
事業費	2,300	36,000	92,000	130,300

- ・浜黒崎浄化センター脱水機棟耐震化実施設計業務委託
- ・浜黒崎浄化センター避難口設置工事
- ・大山下水処理場水処理施設耐震化実施設計業務委託
- ・大山下水処理場放流渠外耐震化実施設計業務委託
- ・山田浄化センター汚泥処理棟外耐震実施設計業務委託

カ 処理場、ポンプ場の耐水化

事業費	144,700 千円
(うち補助事業)	144,700 千円)

洪水時における被害を軽減するため、下水処理場およびポンプ場の耐水化を行い、防災対策の強化を図ります。

令和8年度事業の概要

- ・浜黒崎浄化センター脱水機棟耐水化実施設計業務委託
- ・大沢野浄化センター塩素混和池耐水化実施設計業務委託
- ・大山下水処理場管理棟耐水化実施設計業務委託
- ・大山下水処理場水処理施設外耐水化実施設計業務委託

キ 処理場の統廃合と再編

事業費	61,000 千円
(うち補助事業)	61,000 千円)

処理区を統合することで効率的に処理できる農業集落污水处理施設について、公共下水道へ接続します。

令和8年度事業の概要

- ・ 下条処理分区水橋石政外地区舗装復旧工事
- ・ 水落処理分区楠木地区管渠実施設計業務委託

ク 神通川左岸流域下水道建設負担金

事業費	107,800 千円
(うち補助事業)	0 千円)

- ・ 幹線管渠耐震化工事外
- ・ 神通川左岸浄化センター 水処理設備更新工事外

公共下水道事業主要事業箇所図

(汚 水)

地震対策（公共）
重要施設系統等人孔耐震化 岩瀬御蔵町外地区 N=40箇所

地震対策（公共）
豊田処理分区外
マンホールトイレシステム設置 N=2箇所

管渠新設（流公）
布設要望（φ200） L=500m

管渠新設（流特）
布設要望（φ150） L=700m

管渠改築（公共）
水橋第一処理分区 水橋辻ヶ堂地区（φ200~400） L=300m

管渠改築（公共）
松川処理分区 舟橋北町外地区 φ300 L=60m

地震対策（公共）
松川処理分区 新桜町地区 L=130m

管渠改築（公共）
松川処理分区 丸の内一丁目外地区（φ300~600） L=950m

地震対策（公共）
第二次緊急輸送道路人孔耐震化 大町外地区 N=40箇所

管渠新設（公共）
本郷処理分区 布市新町外地区 L=630m
マンホールポンプ N=1箇所

管渠改築（公共）
大沢野処理区 上大久保外地区（φ200~600） L=400m

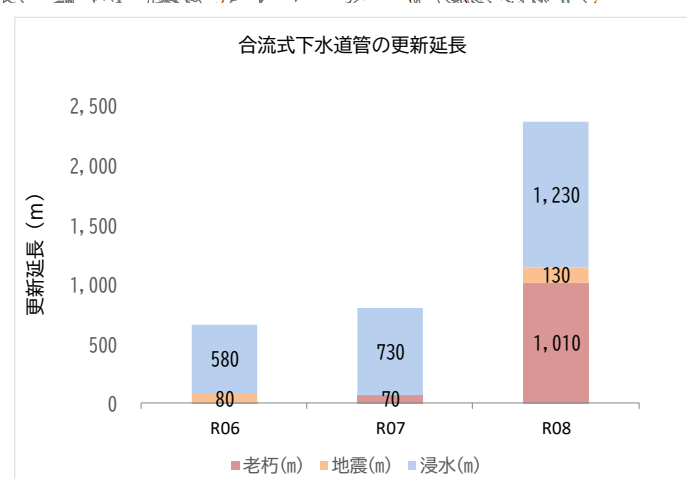
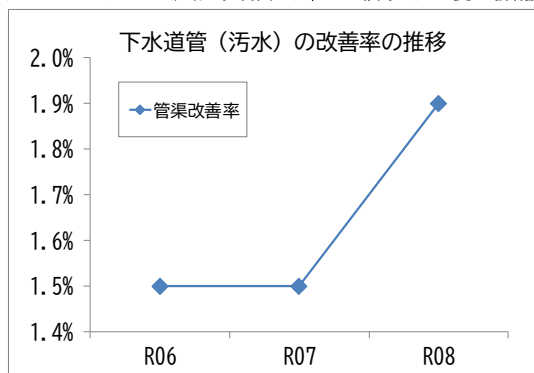
管渠改築（公共）
大山処理区 東黒牧外地区（φ250） L=330m

管渠新設（公共）
大沢野処理区 稲代外地区（φ75~200） L=440m
マンホールポンプ N=1箇所

管渠改築（特環）
小見処理区 本宮外地区（φ300~400） L=140m

管渠新設（公共）
布設要望（φ200） L=500m

管渠新設（特環）
布設要望（φ150） L=500m

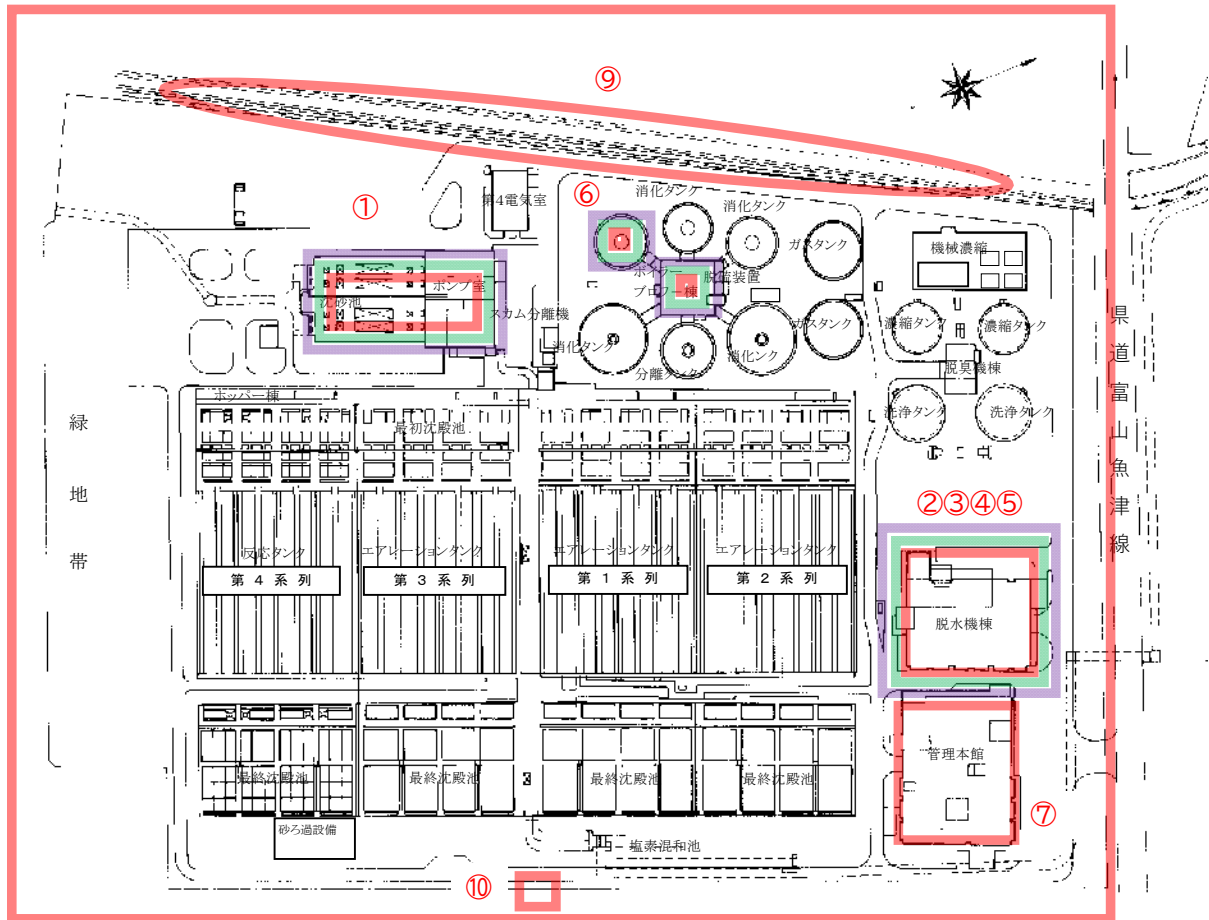


	R06	R07	R08
全体延長(km)	2615.4	2615.4	2615.4
更新・修繕延長(km) ①	4.4	7.4	6.8
カメラ調査の結果、健全と判断した延長(km) ②	35.2	31.1	43.3
改善延長(①+②)(km)	39.6	38.5	50.1
管渠改善率	1.5%	1.5%	1.9%

	R06	R07	R08
全体延長(m)	87,253	87,253	87,253
老朽(m)	0	70	1,010
地震(m)	80	0	130
浸水(m)	580	730	1,230
更新延長計(m)	660	800	2,370

凡	例
公共下水道事業	令和6年度施工箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所(補助)
	令和8年度施工予定箇所(単独)
	令和9年度以降施工予定箇所
参考	処理区域界
	市街化区域
	都市計画区域
	流域下水道幹線

浜黒崎浄化センター



(沈砂池ポンプ棟)

①沈砂池ポンプ棟設備改築外工事【事業団】 (R8, R9, R10継続)

(脱水機棟)

②中央監視装置改築工事【事業団】 (R8, R9, R10継続)

③脱水機棟耐震化実施設計【事業団】

④脱水機棟耐水化実施設計【事業団】

⑤脱水機棟設備外改築実施設計【事業団】

(消化タンク)

⑥1系消化タンク外築造等工事【事業団】 (R8, R9, R10継続)

(管理本館)

⑦特別管理産業廃棄物(低濃度PCB)処分業務委託

(施設全体)

⑧計画設計(下水道基本計画)その2【事業団】

(その他)

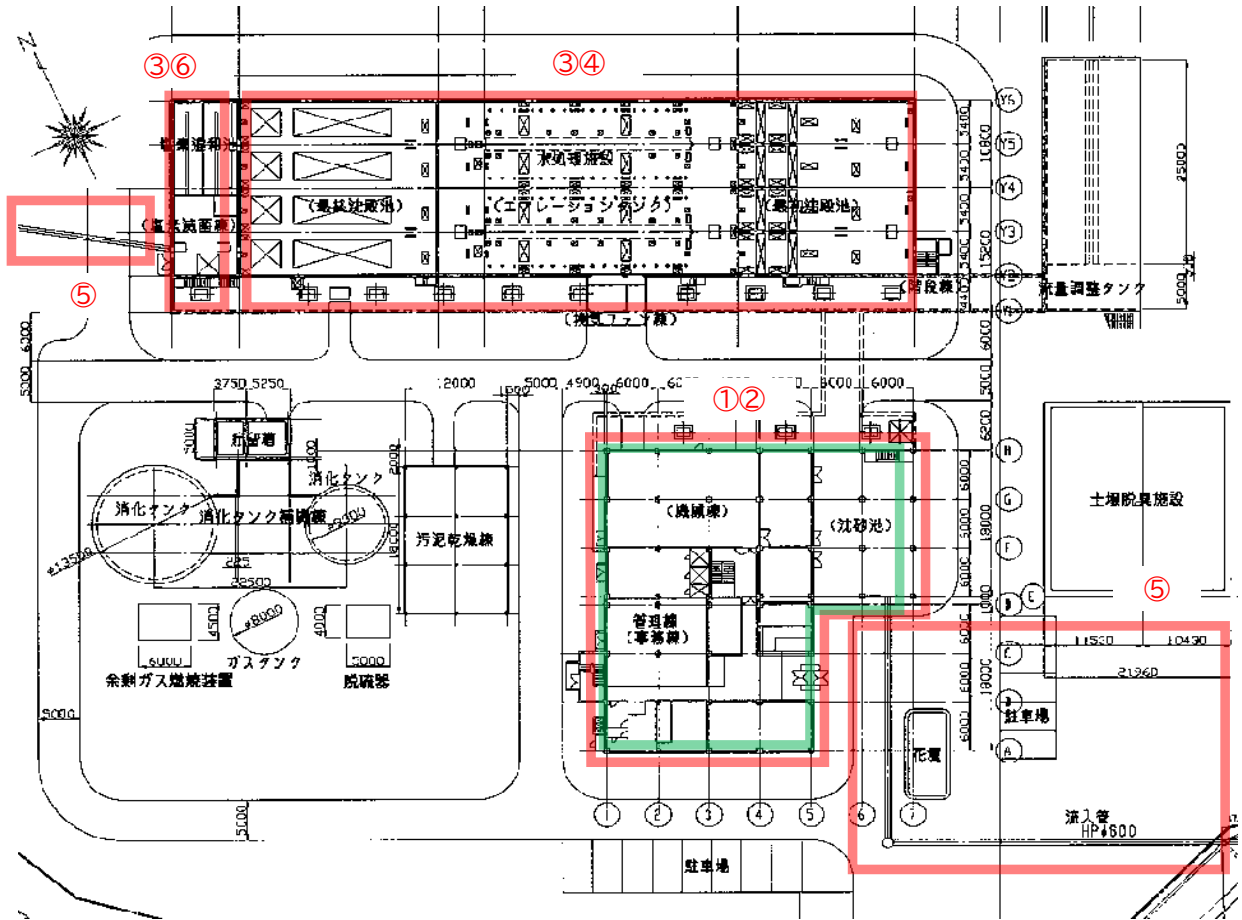
⑨植栽整備工事

⑩避難口設置工事

凡 例

	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

大山水処理場



(管理棟)

- ①管理棟耐水化実施設計【事業団】
- ②監視制御設備改築工事【事業団】(R8, R9継続)

(水処理施設)

- ③水処理施設外耐水化実施設計【事業団】
- ④水処理施設耐震化実施設計【事業団】

(放流渠)

- ⑤放流渠外耐震化実施設計【事業団】

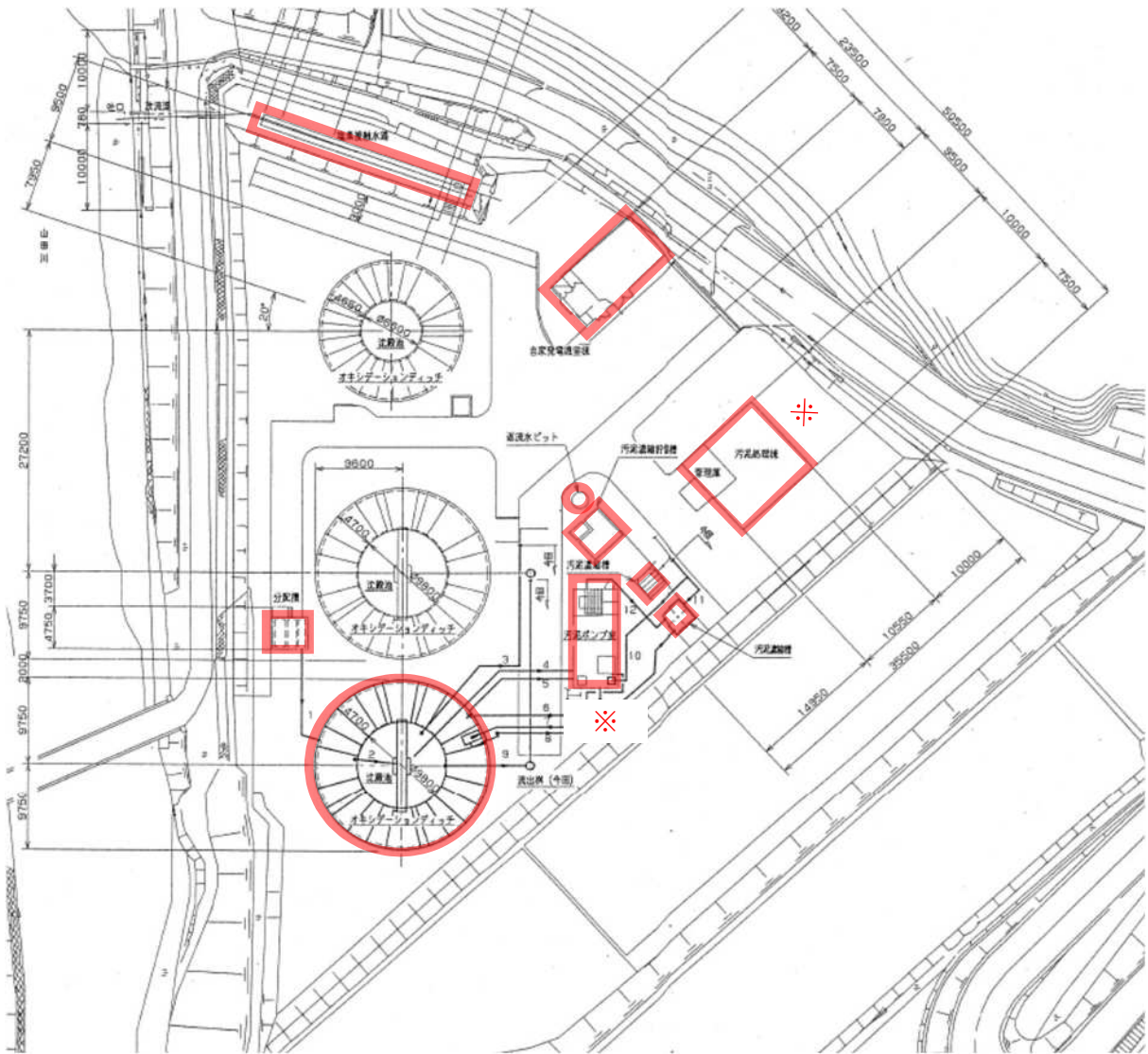
(塩素滅菌棟)

- ⑥塩素滅菌棟設備改築実施設計【事業団】






凡 例

	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

山田浄化センター



(施設全体)
 ①汚泥処理棟外耐震実施設計【事業団】 ※印
 ②汚泥処理棟外設備改築実施設計【事業団】

凡 例	
	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

② 公共下水道（雨水）の更新・耐震化

ア 管渠の新設

事業費 1,048,650 千円
 (うち補助事業 923,700 千円)

浸水の危険性・浸水対策の効果等を整理し、計画的に雨水幹線等を整備することにより、浸水被害の低減を図ります。

合流式下水道区域の浸水被害の軽減を図るため、排水能力の向上を目的とした管渠の増径等を計画的に行います。

令和8年度事業の概要

(ア) 雨水幹線等の整備

552,650 千円

	R 6 年度(実績)	R 7 年度(見込)	R 8 年度
管渠施工延長	260m	338m	170m
貯留施設整備数	0箇所	1箇所	0箇所
整備面積	12ha	53ha	28ha
都市浸水対策達成率	77.7%	78.4%	78.8%

※ 都市浸水対策達成率：大雨に対して安全である地区の面積の割合

(i) 雨水管渠

- ・ 向新庄第二排水区雨水幹線築造工事 130m
- ・ 大沢野東排水区大沢野東第一雨水幹線築造工事 40m
- ・ 岩瀬第一排水区岩瀬第一雨水幹線バイパス水路築造
 工事に伴う下水管移設工事
- ・ いたち川排水区いたち川雨水幹線壁嵩上げ実施設計業務委託
- ・ いたち川排水区AI水位予測システム導入業務委託

(ii) 雨水貯留施設

- ・ 新鍛冶川排水区呉羽苑貯留池公園復旧工事

(イ) 合流式下水道の改善

496,000 千円

	R 6 年度(実績)	R 7 年度(見込)	R 8 年度
浸水対策 工事延長	351m	543m	1,230m

- ・ 松川第一排水区舟橋北町地区浸水対策工事 480m
- ・ 松川第二排水区西四十物町外地区浸水対策工事 750m
- ・ 松川第一排水区神通町二丁目地区浸水対策実施設計業務委託
- ・ 松川第二排水区下水道浸水被害軽減総合計画策定業務委託

イ 管渠の改築

事業費	252,000 千円
(うち補助事業)	252,000 千円)

雨水を確実に、安定、持続的に排水するために、劣化状況等の調査を行い、計画的に管渠等の改築を進めます。

令和8年度事業の概要

- ・速星排水区笹倉雨水幹線改築工事 110m
- ・天瀬川排水区雨水管路施設改築ストックマネジメント調査・計画策定業務委託

ウ 雨水ポンプ場の改築

事業費	63,800 千円
(うち補助事業)	63,800 千円)

雨水を確実に、安定、持続的に排水するために、施設の老朽度を勘案しながら、計画的に施設の改築を行います。

令和8年度事業の概要

- ・牛島排水ポンプ場ストックマネジメント調査・計画策定業務委託
- ・七軒町雨水排水ポンプ場ストックマネジメント調査・計画策定業務
- ・神明ポンプ・ゲート場電気設備改築実施設計業務委託
- ・呉羽駅前排水ポンプ場水位計改築工事

エ 管渠の耐震化

事業費	45,000 千円
(うち補助事業)	45,000 千円)

地震時における被害を軽減するため、雨水管渠の耐震化を行い、防災対策の強化を図ります。

令和8年度事業の概要

- ・松川第一排水区新桜町雨水幹線外地震対策工事 130m

オ 雨水ポンプ場の耐震化

事業費	19,600 千円
(うち補助事業)	19,600 千円)

地震時における被害を軽減するため、雨水ポンプ場の耐震化を行い、防災対策の強化を図ります。

令和8年度事業の概要

- ・呉羽駅前排水ポンプ場耐震診断業務委託

カ 雨水ポンプ場の耐水化

事業費	19,100 千円
(うち補助事業)	19,100 千円)

洪水時における被害を軽減するため、雨水ポンプ場の耐水化を行い、防災対策の強化を図ります。

令和8年度事業の概要

- ・神明ポンプ・ゲート場耐水化実施設計業務委託

キ 浸水対策事業（下富居貯留池）

事業費	459,000 千円
(うち補助事業)	459,000 千円)

下水道事業を活用した浸水対策事業を行うことにより、早期に浸水被害の低減を図ります。

令和8年度事業の概要

- ・下富居排水区下富居貯留池導水管築造工事（継続R7～R8：2年目）

R7～R8施工延長	導水管	250m
	バイパス管	70m

継続事業費 (単位：千円)

	R 7 年度	R 8 年度	合計
事業費	340,000	387,000	727,000

- ・下富居貯留池排水ポンプ設置工事

公共下水道事業主要事業箇所図

(雨 水)

雨水貯留施設
新鍛冶川排水区
呉羽苑貯留池公園復旧 N=1式

雨水貯留施設
下富居排水区
下富居貯留池 導水管築造工事 L=250m
バイパス管築造工事 L=70m

雨水管渠
向新庄第二排水区
雨水幹線 L=130m

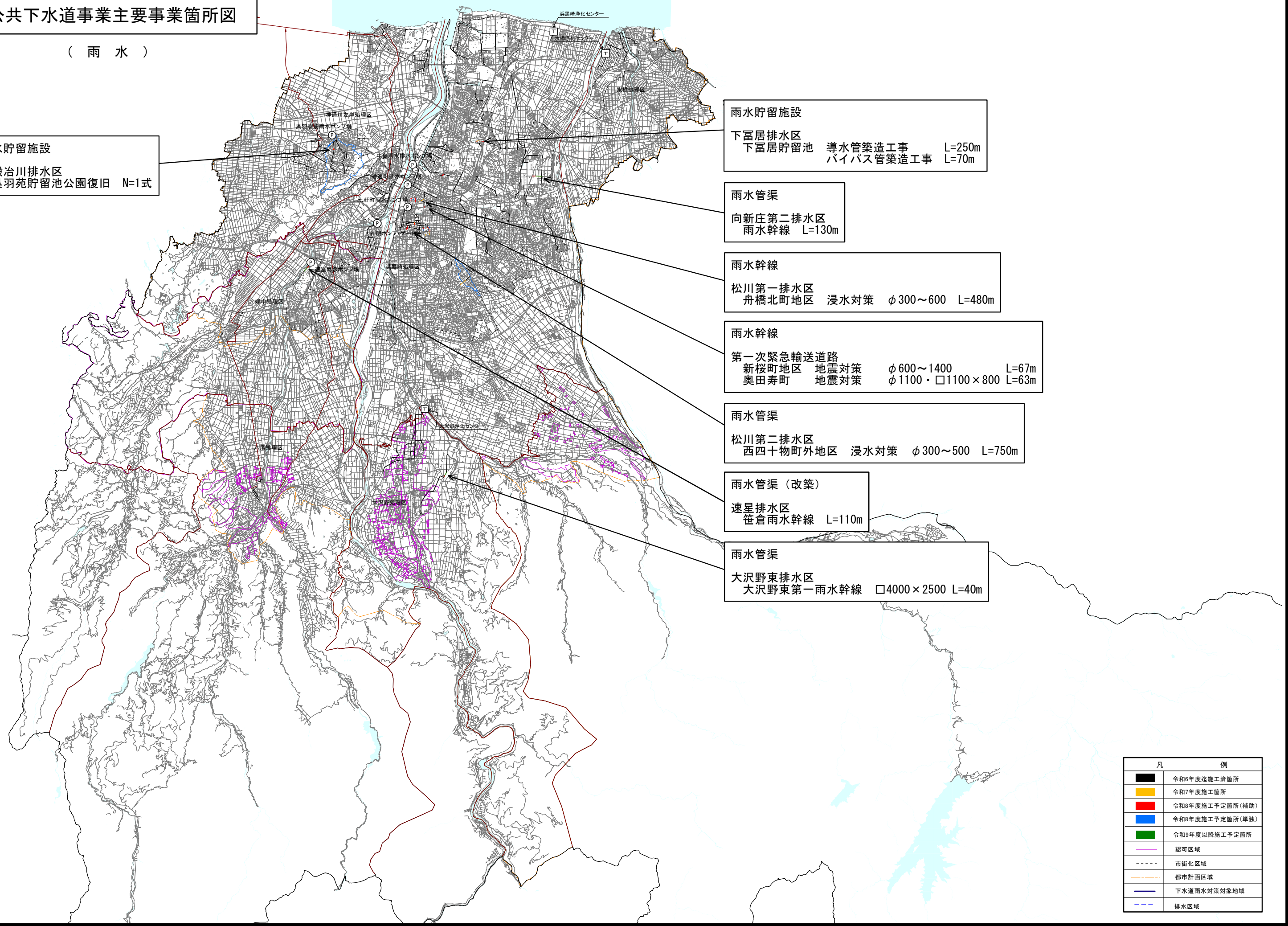
雨水幹線
松川第一排水区
舟橋北町地区 浸水対策 ϕ 300~600 L=480m

雨水幹線
第一次緊急輸送道路
新桜町地区 地震対策 ϕ 600~1400 L=67m
奥田寿町 地震対策 ϕ 1100・ \square 1100×800 L=63m

雨水管渠
松川第二排水区
西四十物町外地区 浸水対策 ϕ 300~500 L=750m

雨水管渠(改築)
速星排水区
笹倉雨水幹線 L=110m

雨水管渠
大沢野東排水区
大沢野東第一雨水幹線 \square 4000×2500 L=40m

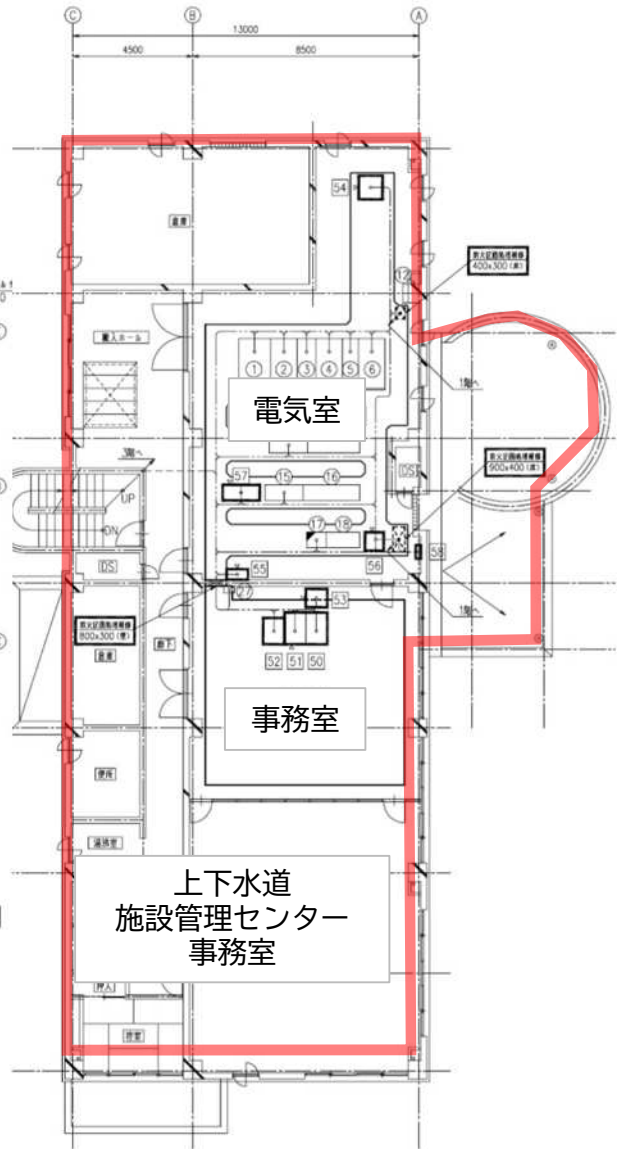
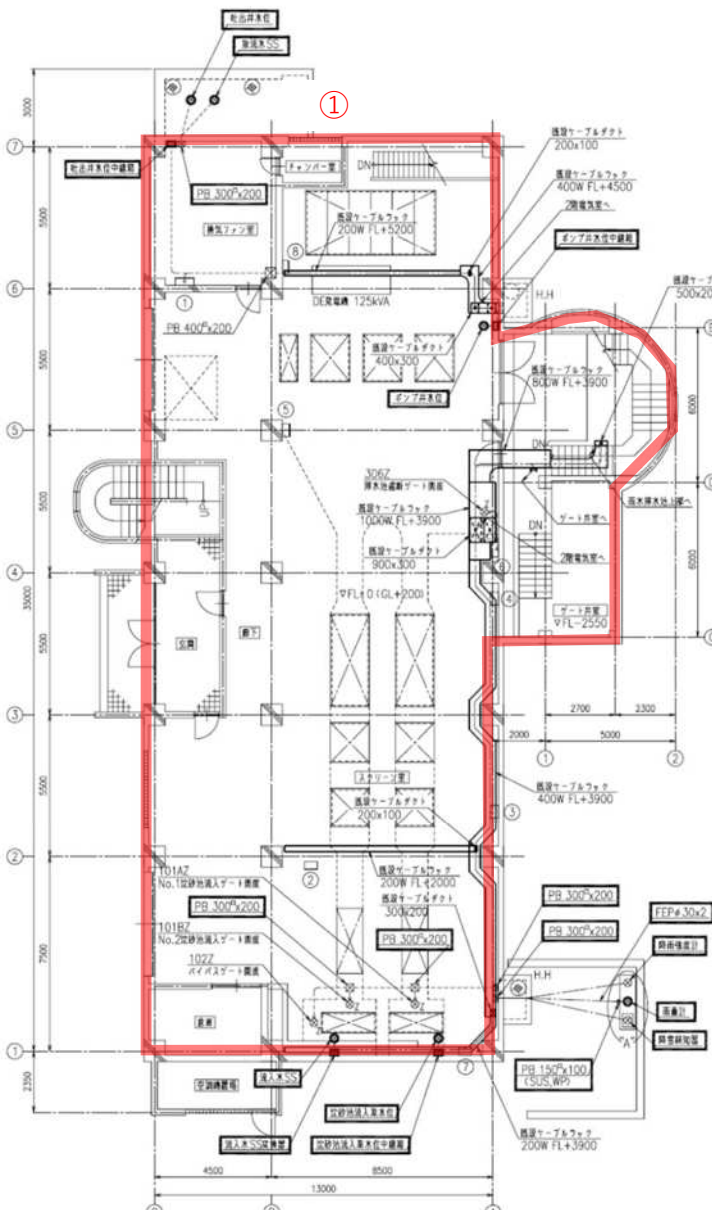


凡	例
	令和6年度迄施工箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所(補助)
	令和8年度施工予定箇所(単独)
	令和9年度以降施工予定箇所
	認可区域
	市街化区域
	都市計画区域
	下水道雨水対策対象地域
	排水区域

牛島排水ポンプ場

1階平面図

2階平面図



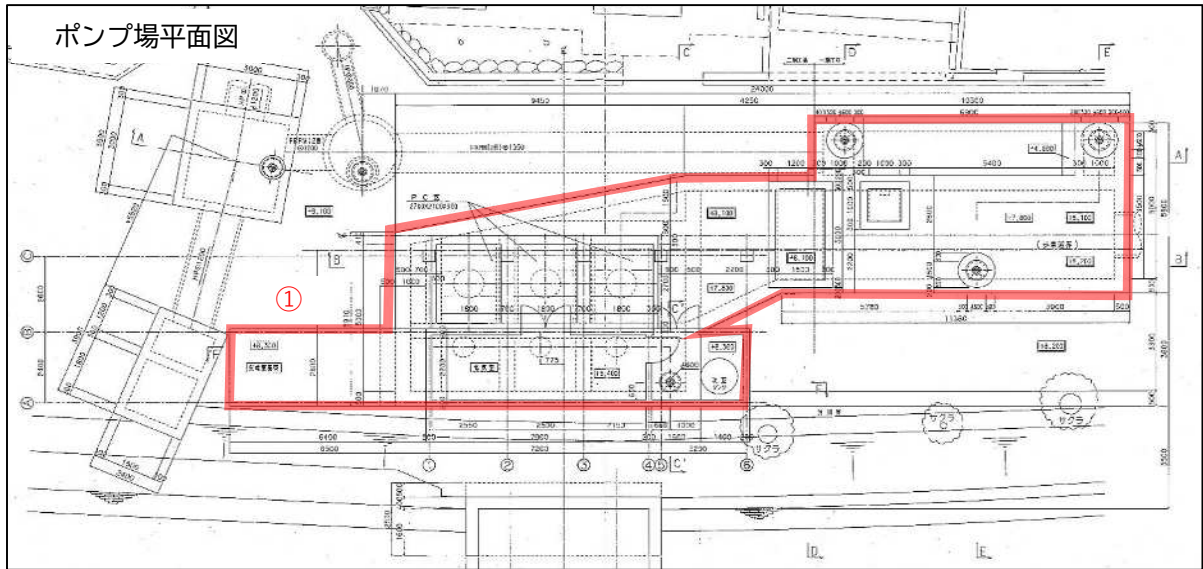
(ポンプ場)

①ストックマネジメント調査・計画策定業務【事業団】

凡 例

	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

七軒町雨水排水ポンプ場



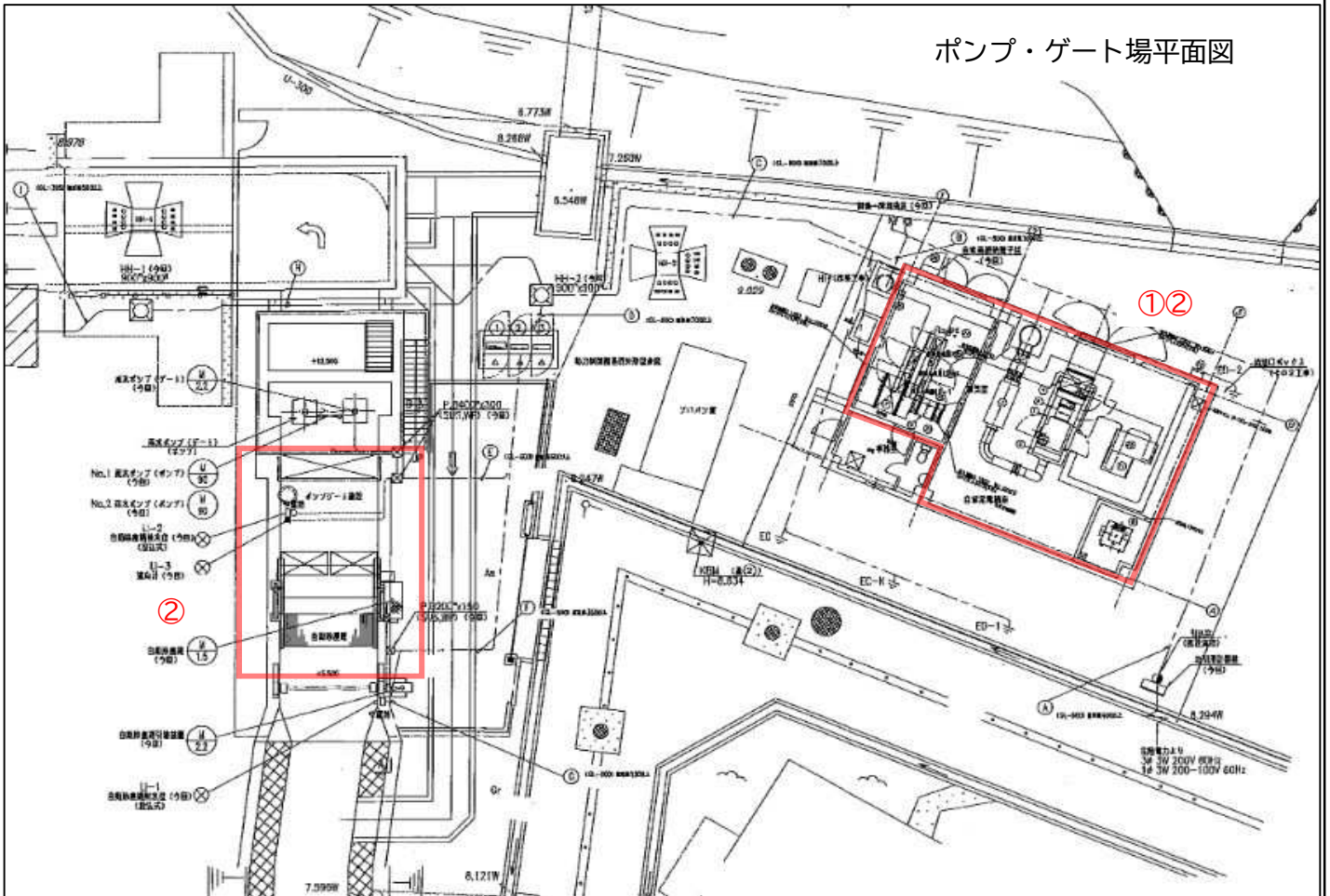
(ポンプ場)

①ストックマネジメント調査・計画策定業務【事業団】

凡 例	
	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

神明ポンプ・ゲート場

ポンプ・ゲート場平面図

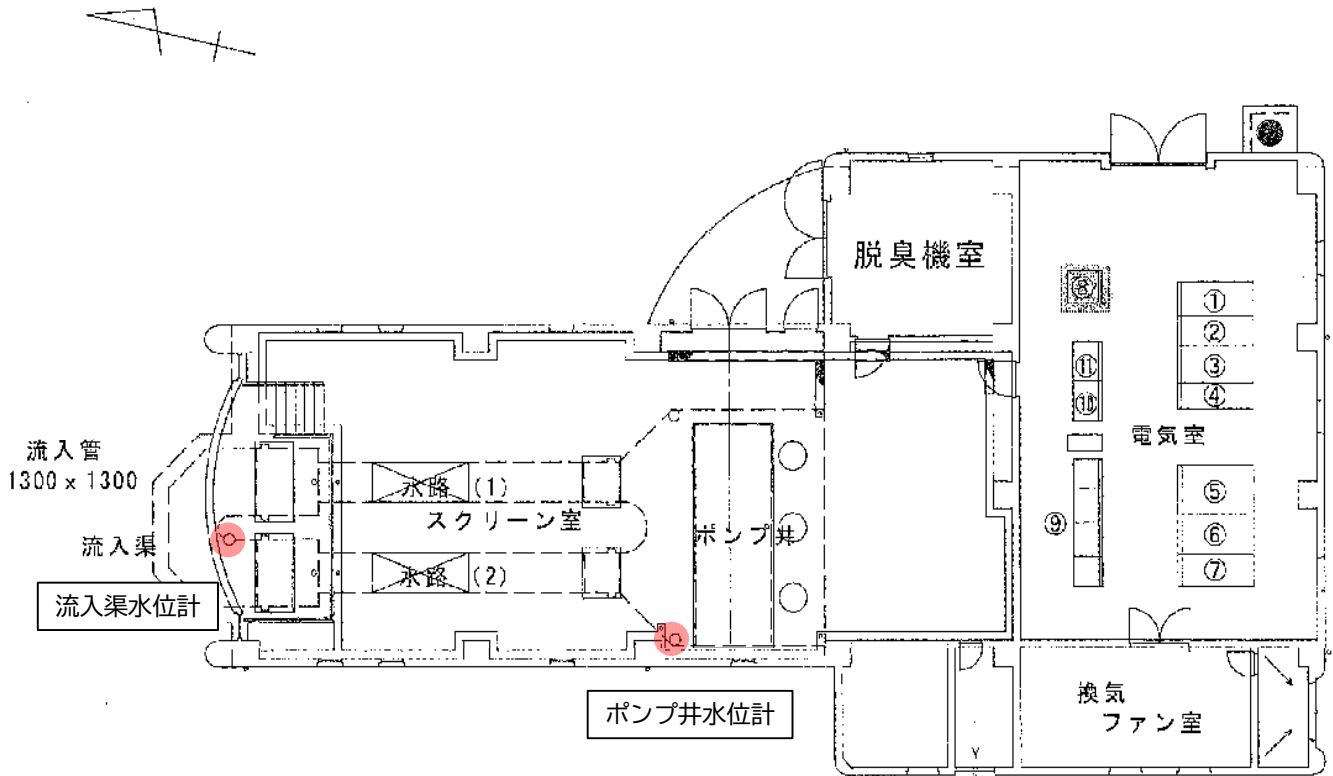


(ポンプ場)

- ①耐水化実施設計業務委託
- ②電気設備改築実施設計業務委託

凡 例	
	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

呉羽駅前排水ポンプ場



(ポンプ場)
①水位計改築工事

凡 例	
	令和6年度までに施工済み箇所
	令和7年度施工箇所
	令和8年度施工予定箇所
	令和9年度施工予定箇所
	令和10年度以降施工予定箇所

7 上下水道耐震化計画に基づく取組（再掲）

令和6年能登半島地震を教訓に令和7年2月に策定した上下水道耐震化計画（R7～R11年度）に基づき、災害時にも水道と下水道の両方の機能を確保できるよう、避難所等の重要施設に接続する上下水道管路の耐震化を重点的に進めます。

○上下水道事業耐震化計画に基づく令和8年度予算建設改良費

(1) 水道事業	事業費	2,586,318千円
ア 水道システムの急所施設の耐震化		515,300千円
i 浄水施設		403,800千円
・浄水場（下井田新浄水場、上滝浄水場など）		403,800千円
ii 配水施設		111,500千円
・配水施設（小長谷低区配水地など）		111,500千円
イ 避難所等の重要施設に接続する水道管路の耐震化		2,071,018千円
i 下水道処理区域内における避難所等の重要施設		2,071,018千円
・配水幹線（南部幹線、水橋幹線など）		1,763,090千円
・配水支管		307,928千円

●主な目標値

【浄水施設の耐震化率
（施設能力ベース（ $\text{m}^3/\text{日}$ ））】

R7	→	R11
58%	→	66%
(117,496 m^3)	→	(133,946 m^3)
対象施設能力		203,681 m^3

【配水施設（有効容量ベース
（ m^3 ））の耐震化率】

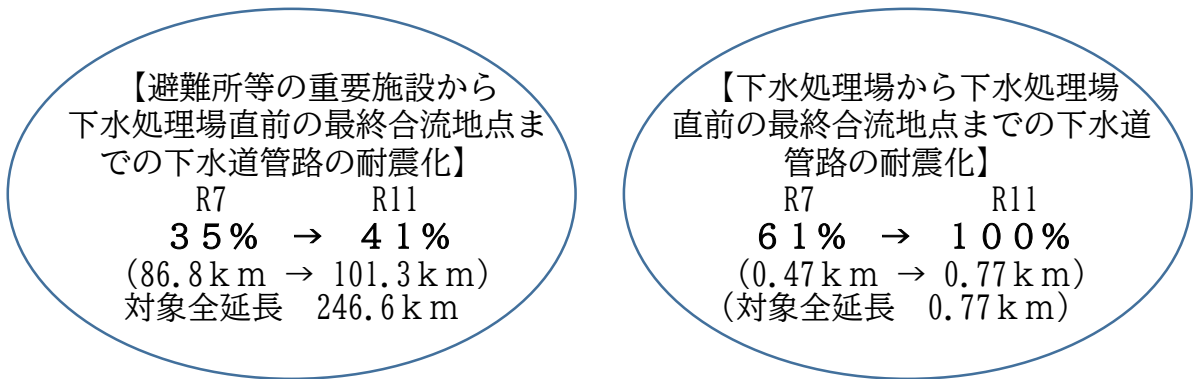
R7	→	R11
47%	→	49%
(62,347 m^3)	→	(64,201 m^3)
全対象有効容量		132,302 m^3

(2) 公共下水道事業

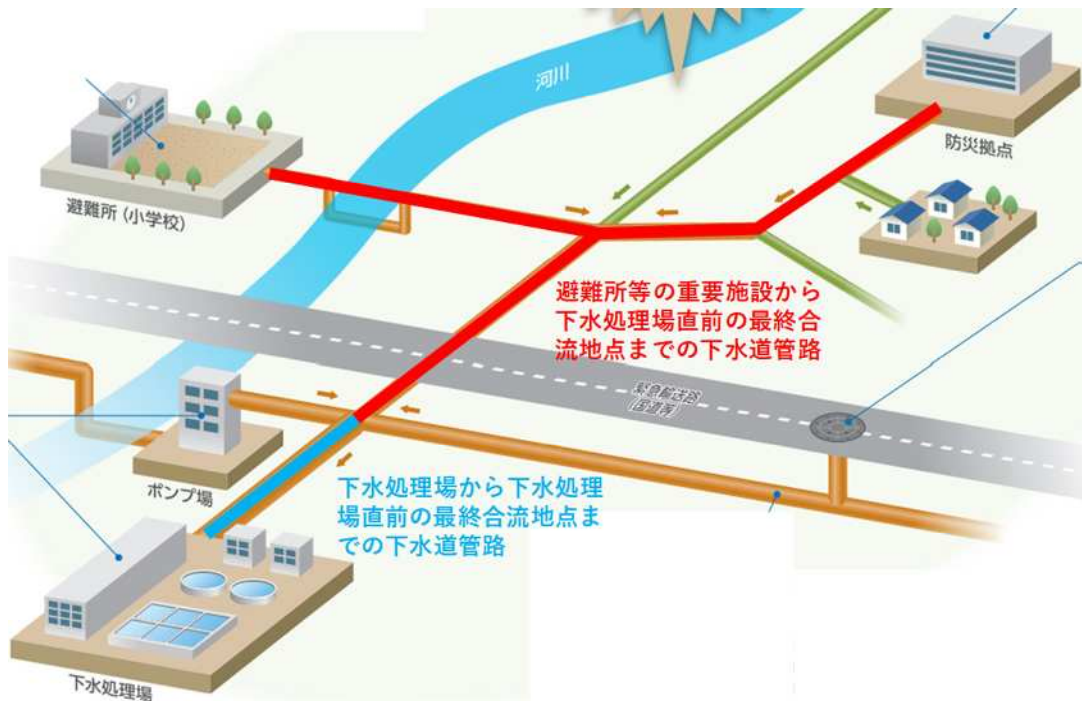
事業費 276,000千円

- ア 避難所等の重要施設に接続する下水道管路の耐震化 276,000千円
 - i 避難所等の重要施設に接続する下水道管路 276,000千円
 - ・管路 216,000千円
 - ・人孔 60,000千円

●主な目標値



【イメージ図】



8 建設改良事業以外の主な取組

(1) 富山市水道事業「通水」90周年・富山市上下水道局発足25周年

記念事業の実施（新規）

事業費 7,000千円

1935年（昭和10年）10月20日の通水（一部）開始から90周年、また2001年（平成13年）4月1日に水道局と下水道部を統合した「上下水道局」が発足してから25周年となることを記念し、様々な記念事業を実施するもの。

【主な事業内容】

①記念シンポジウム

- ・記念講演、パネルディスカッション、表彰式、クイズ・アトラクション
などを開催
- ・10月9日（金）オーバード・ホール／中ホール

②記念誌の発行

③PR動画の製作

④デザインマンホールを巡るスタンプラリー

⑤夏休み親子体験教室

など

(2)「市民参加型」上下水道ワークショップの開催（新規）

事業費 2,963千円

ワークショップ活動を通じて双方向のコミュニケーションを図り、市民に上下水道の理解を深めていただくとともに、将来にわたり持続可能な上下水道事業とするために解決すべき様々な課題について、市民と行政が共に考える機会とするもの。

①参加者（公募により決定）

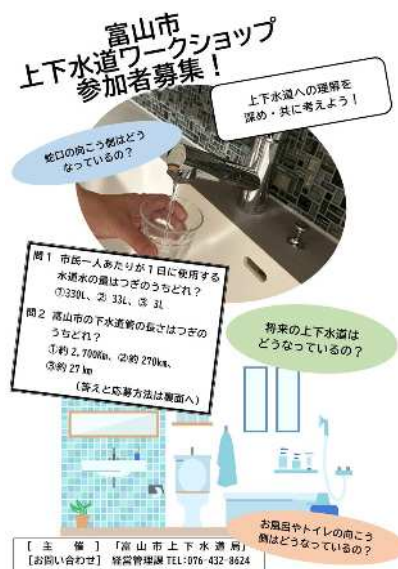
20代から80代までの市民27名（男性：13名、女性：14名）

②開催スケジュール

・第1回（令和8年2月27日）

富山市上下水道事業経営アドバイザーの吉岡律司氏（岩手県矢巾町上下水道課長、岩手県立大学客員准教授）によるワークショップの目的や進め方についての講演など

- ・令和8年度中に4回開催（予定）し、「将来にわたり持続可能な上下水道事業とするためにどうしたらいいか」などをテーマにしたワークショップや講座受講、施設見学、工事現場体験などを行う。



(3) その他の取り組み

事業費 4,309千円

①情報発信の強化

2,640千円

ア お客さまサービスステーションの運営

2,640千円

市役所2階に設置したお客さまサービスステーションにおいて、各種相談受付のほか、様々な情報発信やサービス提供を行う。

イ 上下水道局専用ホームページの開設・運用

(ランニングコストは一般会計で一括計上)

②技術継承・人材育成の強化

418千円

上下水道局独自の人材育成計画に基づき、上下水道事業に必要となる技術者及び企業会計職員、公務員としての研修等を実施し、技術継承、人材育成に取り組む。

・研修項目(案)

災害(応援)対応、企業会計の仕組み、上下水道工事における施工管理
公務員倫理

③経営改善、経営基盤強化

1,251千円

ア 上下水道事業経営審議会

589千円

健全な事業経営を安定的に実現していくため、条例に基づく第三者機関である審議会において経営全般に関する事項について審議する。

イ 上下水道アンケート調査の実施(新規)

662千円

上下水道事業に対する評価や要望を把握するため、お客さまアンケート調査を実施する(隔年実施)。

9 富山市水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件

[下水道課]

(1) 趣旨

農業集落汚水処理施設（楠木地区）の公共下水道への接続等に伴い、予定処理区域面積、計画処理人口及び1日最大処理水量の数値を改正するもの。

(2) 公共下水道事業の予定処理区域面積等

ア 予定処理区域面積

「11,073.7ヘクタール」 → 「11,076.7ヘクタール」

イ 計画処理人口

「376,360人」 → 「378,570人」

ウ 1日最大処理水量

「259,120立方メートル」 → 「257,620立方メートル」

(3) 施行期日 令和8年4月1日

10 富山市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定の件

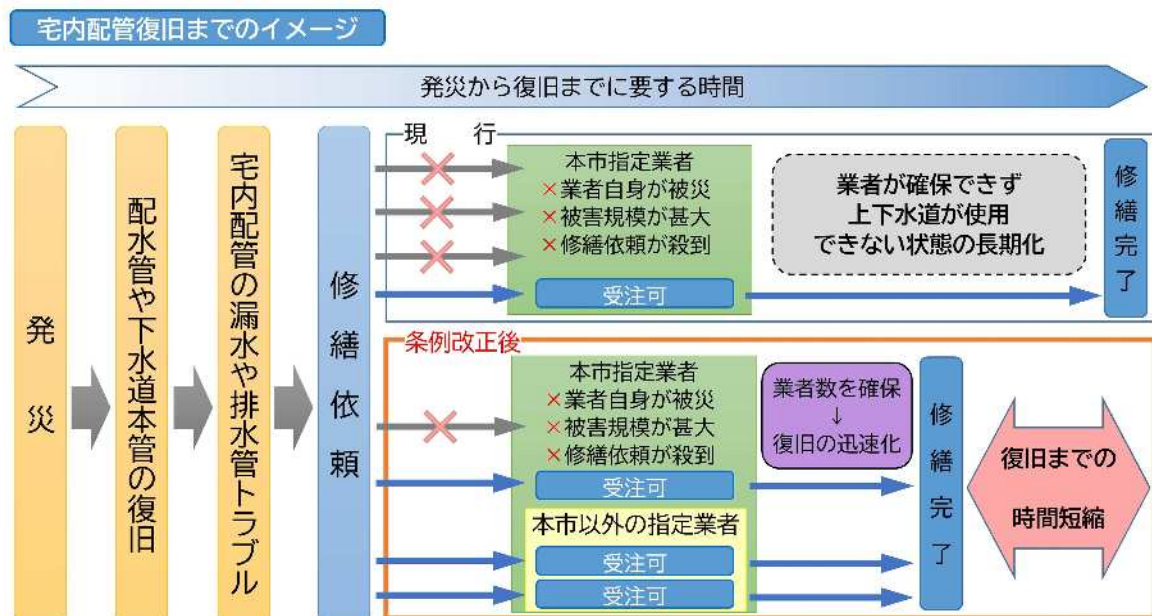
[給排水サービス課]

(1) 趣旨

災害その他非常の場合において、他の市町村長又は他の市町村長が指定した者に給水装置工事を行わせることができることとするもの。

(2) 改正内容

- 現 行**・・・本市が指定した業者のみ給水装置（宅内配管）工事の実施が可能。
- 改正後**・・・災害時等には本市以外の指定業者も給水装置（宅内配管）工事の実施が可能。



(3) 施行期日 公布の日

1 1 富山市下水道条例の一部を改正する条例制定の件

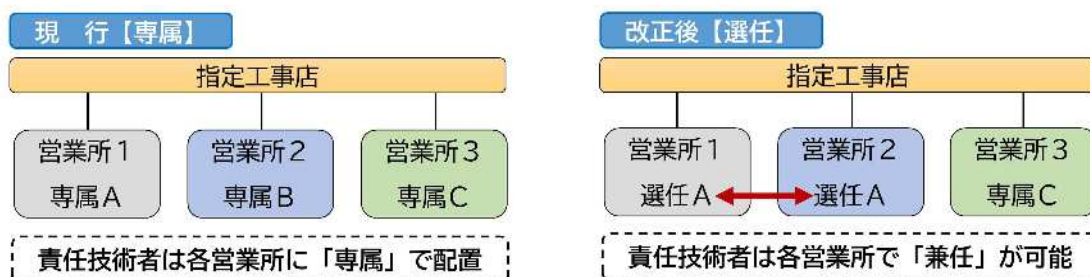
[給排水サービス課]

(1) 趣旨

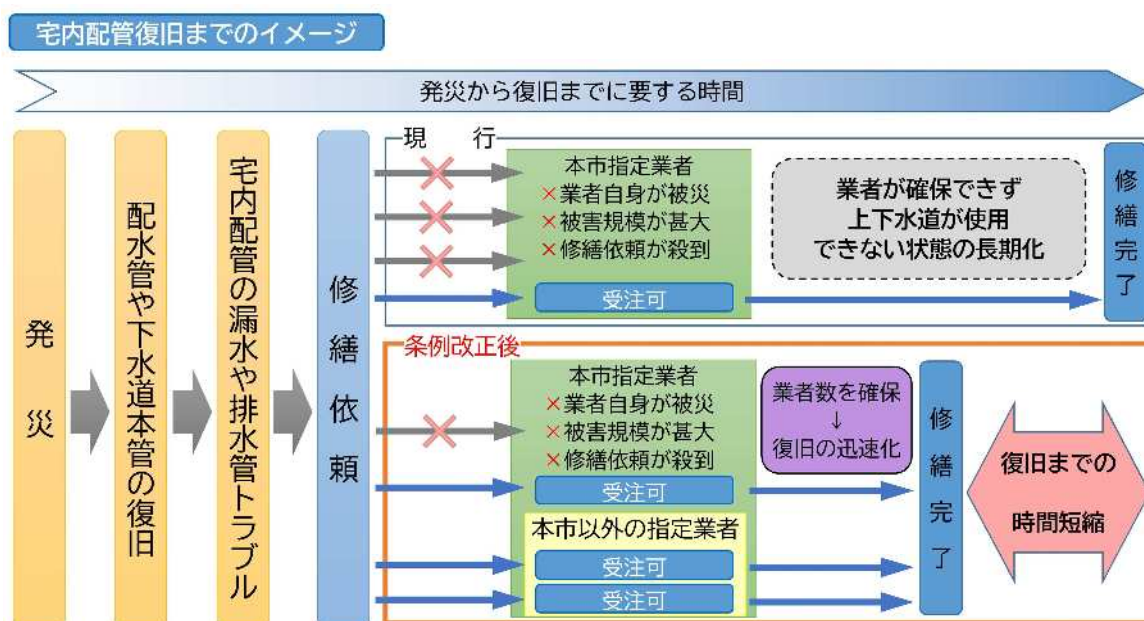
排水設備等工事の責任技術者が「他の営業所と兼任」することができるよう規制を緩和するもの及び災害その他非常の場合において他の市町村長が指定した者に排水設備工事を行わせることができることとするもの。

(2) 改正内容

①責任技術者の配置について、営業所ごとの専属配置から、他の営業所との兼任配置を可能とするもの。



- ② **現行**・・・本市が指定した業者のみ排水設備(宅内配管)工事の実施が可能。
改正後・・・災害時等には本市以外の指定業者も排水設備(宅内配管)工事の実施が可能。



(3) 施行期日 公布の日